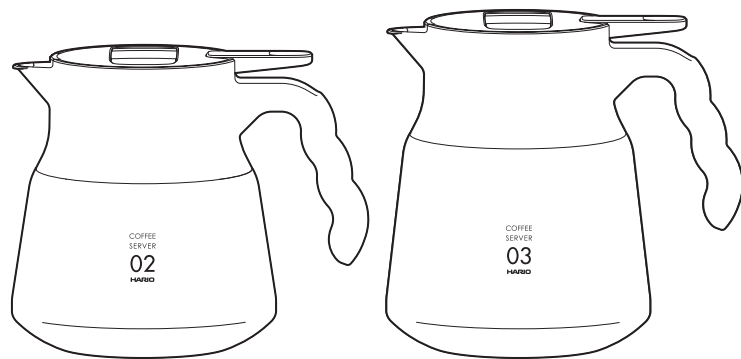


V60 Insulated Stainless Steel Server PLUS

V60 保温ステンレスサーバー PLUS



VHSN共通説明書2103

取扱説明書 2 - 5

ご購入に誠にありがとうございます。正しくご使用していただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになりましたら、大切に保管してください。

使用説明書 14 - 15

感謝您購買本商品。為了能正確使用本商品，請務必詳細閱讀此說明書。此外，看完說明書後，請妥善收藏。

Manual de instrucciones 20 - 21

Gracias por comprar este producto HARIO. Asegúrese de leer este manual de instrucciones completamente con el fin de usar este producto correctamente. Después de leerlo, guárdelo en un lugar seguro para referencia futura.

Manual de instruções 26 - 27

Obrigado por comprar este produto HARIO. Certifique-se de ler este manual de instruções para utilizar o produto de maneira correta. Após ler este manual, guarde-o em um local adequado para referência futura.

Instruction Manual 6 - 9

Thank you for purchasing this HARIO product. Please be sure to read this instruction manual thoroughly in order to use this product correctly. After reading it, store it in a safe place for future reference.

취급설명서 16 - 17

본 제품을 구매해 주셔서 진심으로 감사드립니다. 올바르게 사용하기 위해 이 취급설명서를 반드시 읽어 주십시오. 또한, 읽으신 후 잘 보관해 주십시오.

Manuel d' instructions 22 - 23

Nous vous remercions d' avoir acheté ce produit HARIO. Merci de lire ce manuel d' instructions attentivement afin d' utiliser le produit correctement. Après l' avoir lu, le garder dans un endroit sûr pour pouvoir s' y référer plus tard.

Instrukcja obsługi 28 - 29

Uleć W.O.IRAH ymif utkudorp ogezsjeinin pukaz azymejkejzD ɛtyzyczep eindalkod yżelan utkudorp ainawoktyżu ogewoldiwarp w ɛyżoldo aj yżelan uinatyzczezp oP. Igułsbo ejckurtsni ązsjeinin .uinatsyrozkyw myłszyzrp o ałsým z ecsjeim enzceipzeb

使用说明书 12 - 13

非常感谢您购买本产品。请务必阅读本说明书，确保正确使用。另外，阅读后，请慎重保管。

Bedienungsanleitung 18 - 19

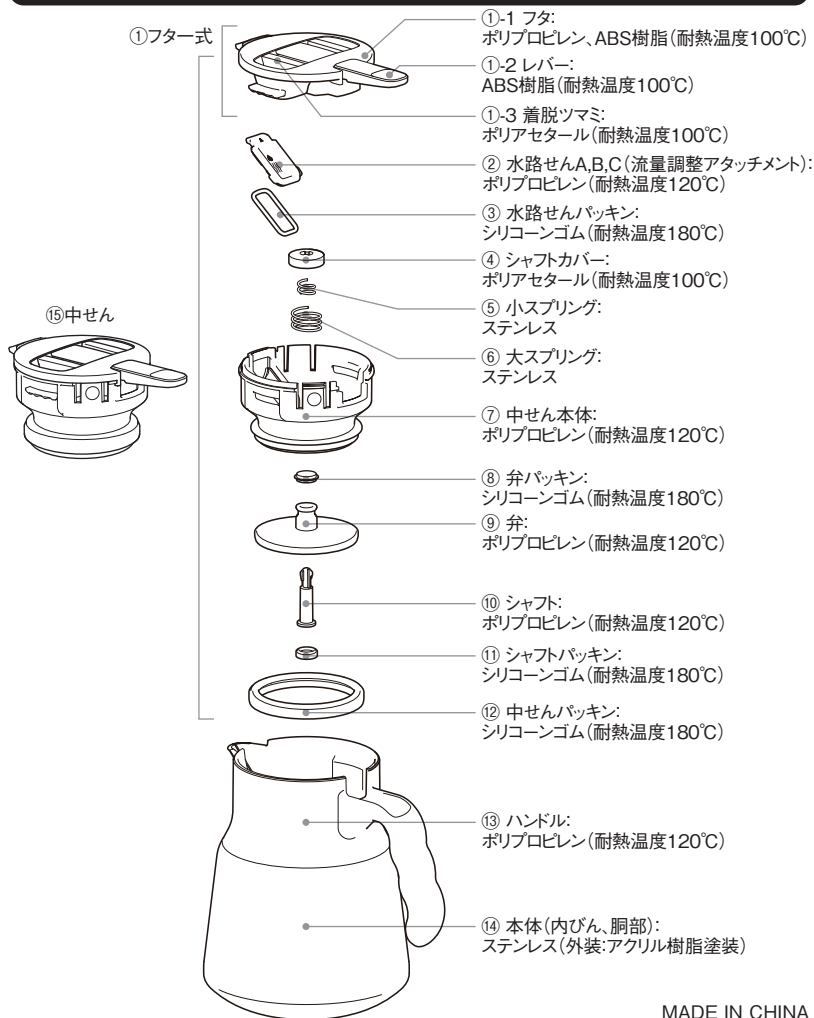
Danke, dass Sie dieses HARIO-Produkt erworben haben. Lesen Sie diese Bedienungsanleitung aufmerksam durch, um das Produkt korrekt zu verwenden. Bewahren Sie die Anleitung nach dem Lesen an einem sicheren Ort auf, um in Zukunft darauf zurückgreifen zu können.

Manuale di istruzioni 24 - 25

Grazie per avere acquistato questo prodotto HARIO. Per un utilizzo corretto del prodotto, leggere attentamente il presente manuale di istruzioni. Dopo avere letto il manuale, conservarlo in un luogo sicuro per future consultazioni.

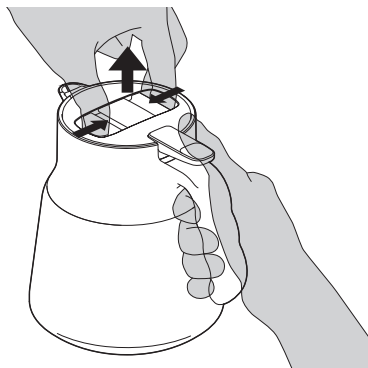
دليل الإرشادات 31 - 30

شكرًا لك على شراء هذا المنتج من O.IRAH. الرجاء قراءة دليل الإرشادات هذا بعناية حتى تستخدم هذا المنتج بشكل سليم. بعد قراءة الدليل، احفظه في مكان آمن ليكون لك مرجعًا في المستقبل.



- △直火や電磁調理器、電子レンジなどの加熱器具でご使用になれません。
- △お子様がご使用になる際は、取扱い上の注意をご指導の上、一人では扱わせないようにしてください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。
- ご使用前には洗浄をしてください。
 - 飲みものの保温、保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。
 - 火気のそばで使用しないでください。
 - 製品に強い衝撃・振動を与えないでください。漏れや保温保冷効果の低下の原因になります。
 - 冷凍庫に入れないでください。
 - 熱いやかんなどを口金にあてないでください。
 - 使用時は中せんを確実に閉めてください。また、各部品が正しくセットされていることを確認してください。
 - 熱い飲み物を入れたときは、一度人のいない方向に向けてレバーを押し、内圧を抜いてからご使用ください。内圧で内容物が吹き出す場合があります。
 - 中身が入った状態で中せんを取りはずすときは、一度レバーを押し、内圧を抜いてから取りはずしてください。
 - 乳幼児のいたずらに注意してください。
 - 傾けてからレバーを押さないでください。内圧で内容物が吹き出す場合があります。
 - 不安定な場所に置かないでください。倒れて飲み物がこぼれ、やけどや物を汚す原因になります。
 - 持ち運びの際は必ず本体又はハンドルを持ってください。その際、レバーは押さないでください。
 - 絶対に修理・改造は行わないでください。
 - 飲みものを入れた状態で長時間放置しないでください。腐敗や変質の原因になります。
 - お茶などは長時間保存するとお茶の色や味が変わることがあります。お早めにお飲みください。
 - 大きな水を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。キズや漏れの原因となります。
 - 次の物は絶対に入れないでください。
 - ・ドライアイス・炭酸飲料など
内圧が上がり、中せんが開かなくなったり、破損して飛び散ったり、飲み物が吹き出るなど、けがや周囲を汚す原因になります。
 - ・牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの
そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、中せんが開かなくなったり、破損して飛び散ったり、飲み物が吹き出るなど、けがや周囲を汚す原因になります。
 - ・味噌汁・スープ等の塩分を含んだもの
塩分により錆びや腐敗、変質の原因になります。
 - ・お茶の葉・果肉など
中せんの内部に詰まり、漏れてやけどや周囲を汚す原因になります。
 - ドリッパーをのせて使用する際は転倒に注意してください。
 - ドリッパーの種類によってはうまくのらない場合があります。その場合は無理に使用しないでください。
 - 破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。
 - 廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。
 - 本体底面中央のシールは剥がさないでください。

1



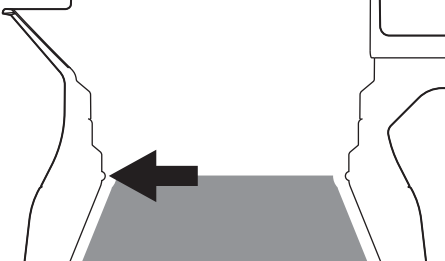
中せんをはずす。
着脱ツマミを指でつまんで中央にスライドさせながら持ち上げてください。

2



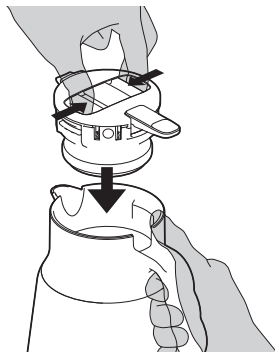
ドリッパーをのせる。(コーヒーをドリップする場合)
中せんを外してドリッパーをのせます。必ずドリッパーが安定していることを確認してからご使用ください。

3



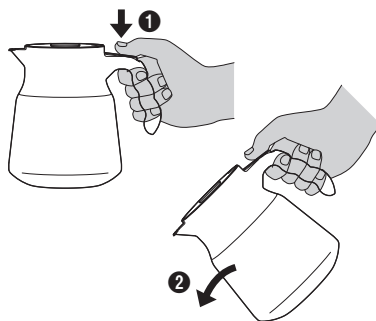
コーヒーをドリップする、またはそのまま飲み物を入れる。
飲み物は図の位置以上に入れないでください。入れすぎると、フタが閉まらず中身が溢れたり、フタが閉まっても内圧で内容物が吹き出す場合があります、やけどの原因になります。また、製品の破損の原因となります。

4



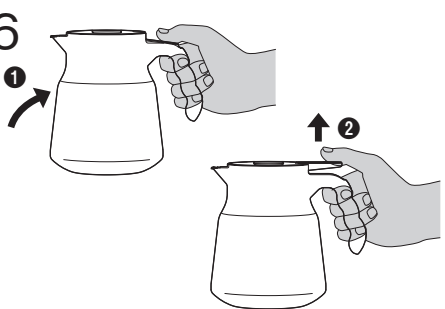
中せんをセットする。
着脱ツマミを指でつまんで中央にスライドさせながら、レバーとハンドルの向きを合わせて確実にセットしてください。中せんが確実にセットされていないと、飲み物が漏れるおそれがあります。

5



飲み物を注ぎはじめ。
レバーを押してから本体を傾けて、飲み物を注いでください。
傾けたあとにレバーを押すと、内圧で内容物が吹き出す場合があります。

6



飲み物を注ぎ終える。
注ぎ終わったら、必ず本体の傾きを元に戻してからレバーを離してください。本体を傾けた状態でレバーを離すと、中せん内に飲み物が残りやけど等の原因になります。

流量を調整する方法

本製品は水路せんA,B,C(流量調整アタッチメント)を付け替えることで注ぐ際の流量をお好みの量に変更することができます。はじめにセットされている水路せんBは標準の流量です。Aに付け替えると多め、Cに付け替えると少なめになります。



水路せんA
多め



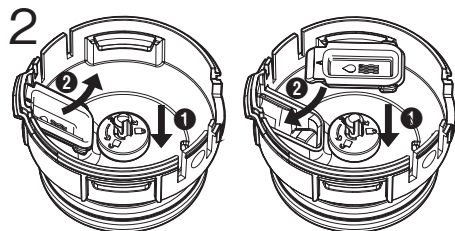
水路せんB
標準



水路せんC
少なめ

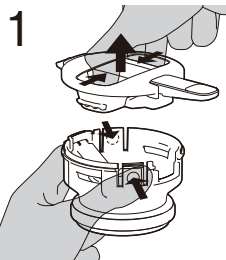
製品のお買い上げ時は「水路せんB」がセットされています。水路せんA,Cはパッケージ内に同梱されていますので、紛失しないようご注意ください。

水路せんの付け替え方法



水路せんをはずして、お好みの水路せんをセットする。シャフトカバーを下に押し下げながら、水路せんの突起部をつまんで取り外してください。シャフトカバーを押し下げたまま、お好みの水路せんをセットします。その際、セットする水路せんに水路せんパッキンが付いていることを確認してください。先に水路せんの出口側を中せん本体の出口天面にかけるようにしてセットしてください。

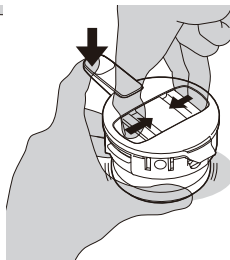
水路せんの付け替え方法



中せんからフター式をはずす。

方法①

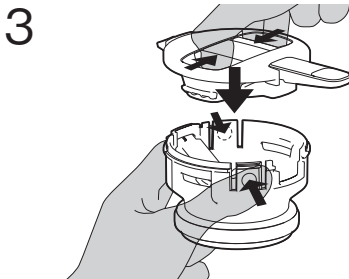
中せん本体の側面にある2箇所の丸い凹みを指で軽く押しながら、着脱ツマミを中央にスライドさせながら持ち上げてください。



方法②

中せんを台の上に押し付けながら、反対の手で着脱ツマミを中央にスライドさせてください。その状態でレバーを押し下げてください。

水路せんの付け替え方法



フター式を中栓にセットする。

中せん本体の側面にある2箇所の丸い凹みを指で軽く押しながら、着脱ツマミを指でつまんで中央にスライドさせながらフター式をセットしてください。

お手入れの方法

- つけ置き洗い、食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
- 塩素系漂白剤、シンナー、クレンザー、金属タワシ、化学雑巾等は使用しないでください。
- 洗浄後は、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。長時間使用しないときは十分に汚れを落とし、乾燥させ、湿気の少ない場所で保管してください。

■ 本体(外装)

お湯で薄めた食器用洗剤を柔らかい布に含ませて、固く絞り、汚れを拭き取った後、柔らかい布でからぶきをしてください。

■ 本体(内側)

お湯で薄めた食器用洗剤を柄の付いたスポンジブラシに含ませて洗い、十分乾燥させてください。本体の汚れのひどいときはステンレスボトル用洗浄剤をご使用ください。

● サビのような赤い斑点が出来た場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、やわらかいスポンジブラシなどで、本体の内側をよく洗ってください。その後、食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

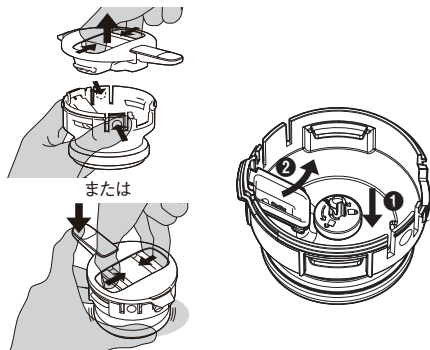
● ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、フタを取り付けず、3時間ほど放置した後にやわらかいスポンジなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。その後、クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

■ 中せん

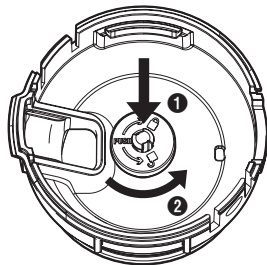
中せんパッキンを取り外して、お湯で薄めた食器用洗剤に浸した、柔らかいスポンジで洗浄してください。その後、洗剤が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。中せんパッキンは洗浄後に必ず取りつけてください。中せん内部の汚れが気になるときは分解して各部品を同様の方法で洗浄することができます。分解・組立の方法は「中せんの分解・組立について」をご確認ください。

1



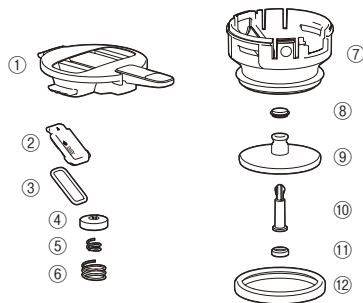
中せんからフター式とレバー、水路せんをはずす。
「水路せんの付け替え方法」を参考に中せんからフター式と水路せんをはずしてください。レバーはフター式から平行に引いてはってください。

2



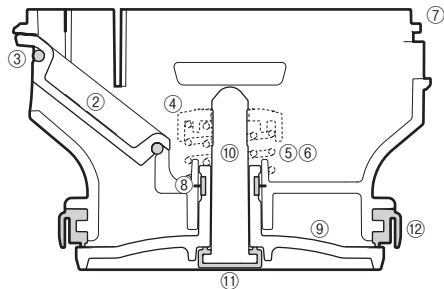
シャフトカバーをはずす。
シャフトパッキンを裏側から指で押さえながら、もう片方の手でシャフトカバーを下に押し下げ、時計と反対周りに回してください。止まったところでシャフトカバーを上に取り上げるとはずれます。

3



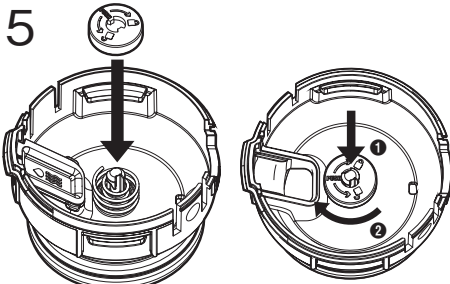
各部品を洗う。
シャフトカバーをはずすと、上記の各部品が外せるようになります。各部品はお湯で薄めた食器用洗剤に浸した、柔らかいスポンジで洗浄してください。その後、洗剤が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

4



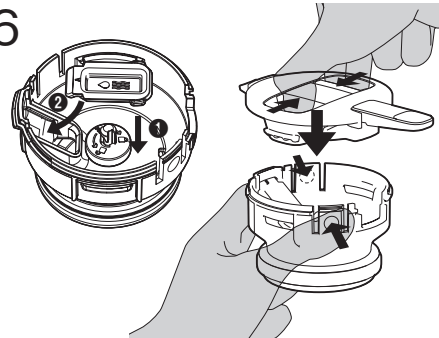
各部品をセットする。
断面図を見ながら、各部品を元の場所にセットしてください。

5

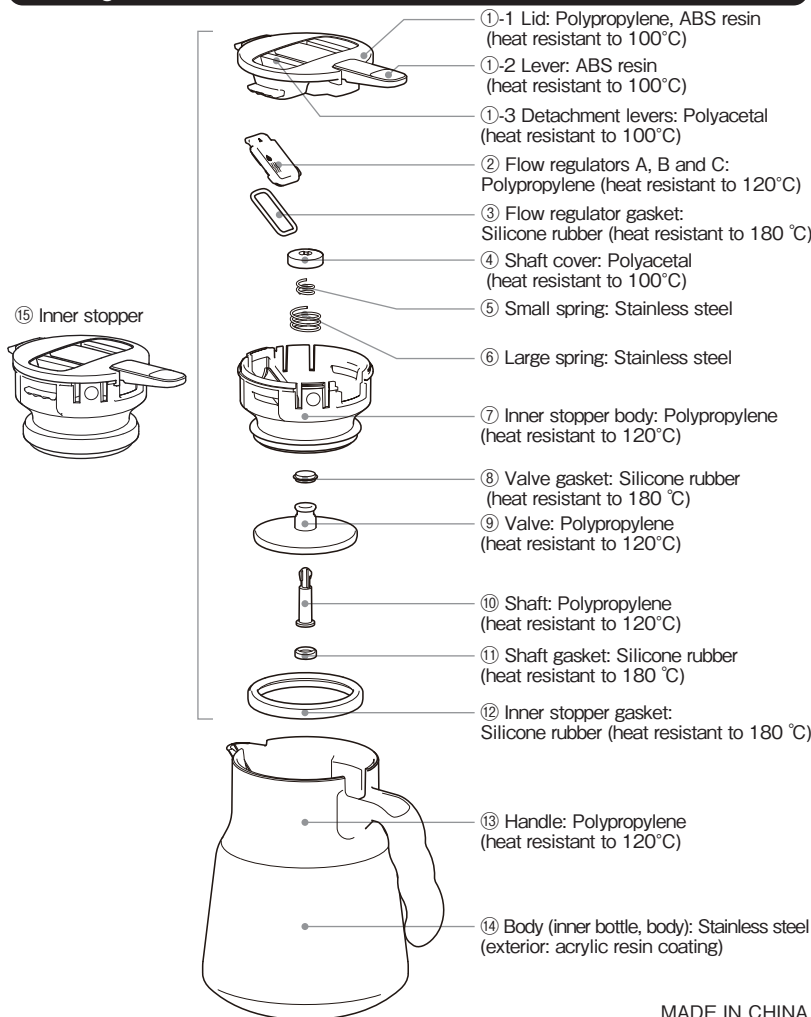


シャフトカバーをセットする。
シャフトに2つのスプリングを通してください。シャフトパッキンを裏側から指で押さえながら、もう片方の手でシャフトカバーをシャフトの溝に合わせながら上から押し下げて、時計回してください。止まったところでシャフトカバーを上に取り上げるとセットできます。

6

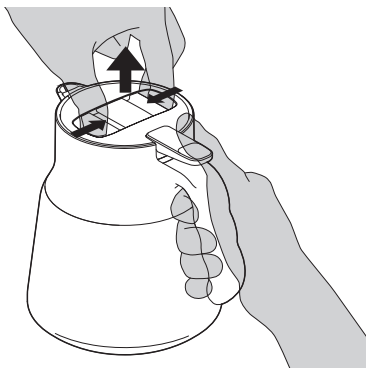


水路せんとレバー、フター式をセットする。
「流量を調整する方法」を参考にフター式と水路せんを中せんにセットしてください。レバーはフター式の柱を通してからヒンジに押し込んでください。



- ⚠ Do not expose to open flames. Do not use with microwave ovens or induction cooking appliances.
- ⚠ Adult supervision is required if a child is using this product. Be sure to explain all of the precautions before use. Be extremely careful when using near children. Store out of reach of children.
- Wash the product before using for the first time.
- Do not use other than for keeping drinks hot/cold.
- Do not use near fire.
- Do not apply any vibration or shocking impact to the container.
- Do not put in the freezer.
- Do not allow the hot kettle to come in contact with the mouth of the container.
- When closing the lid, make sure to close it completely. Please also make sure that all parts is set correctly and closed tightly.
- After filling with a hot drink, press the lever to release the pressure. Point this product away from any people while doing so, as the pressure inside may cause spraying of contents.
- When removing the inner stopper with liquid inside the product, push the lever once to release the internal pressure, then remove the inner stopper.
- Please be careful of mischief of infants and children.
- Do not tilt this product before pushing down the lever, as the pressure inside may cause spraying of contents.
- Do not place this product on an unstable surface. This may cause this product to topple and the contents to spill, causing burns or staining of nearby objects.
- When carrying the product, be sure to hold the body or the handle. Do not press the lever while carrying.
- Never attempt to repair, disassemble or modify this product.
- Do not leave drinks in this product for a long period of time. This may cause corrosion or deformation.
- Discoloration or tainting may occur if drinks such as tea are left in this product for a long period of time.
- Break large ice cubes into smaller pieces before placing in this product. Scratching or leakage may occur if they are placed in whole.
- Do not put in the following items.
 - Dry ice and carbonated drinks
 These items may cause pressure to build up inside the product, which may prevent the inner stopper from opening, cause part of the product to break or shatter, or cause liquid to spray from the product. This may ultimately result in injury or soiling of the surrounding area.
- Milk, dairy products, fruit juice and other perishable items
Gas released by the decay of items left inside the product for prolonged periods may cause pressure to build up inside the product, which may prevent the inner stopper from opening, cause part of the product to break or shatter, or cause liquid to spray from the product.
- Miso soup / soup with salt content
The salt content can cause rust, rotting or deteriorating.
- Tea leaves / flesh pulp
They can clog up any openings and cause burns from leakage or dirty the surroundings.
- Take care not to tip this product over when placing the dripper on it.
- Non-HARIO drippers may not fit well on this product. Do not try to force them into place.
- In the unlikely event the product becomes damaged, please handle any broken pieces with care.
- Follow local rules on garbage disposal when disposing of this product.
- Do not remove the sticker in the center of the bottom of the body.

1



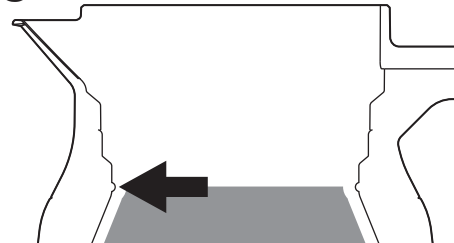
Remove the inner stopper.
Pinch the detachment levers with your fingers and slide them toward the center, lifting as you do so.

2



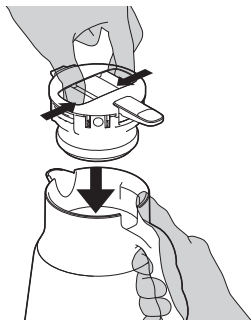
Mount the dripper (when brewing pour over coffee).
Remove the inner stopper and mount the dripper.
Always ensure that the dripper is stable before use.

3



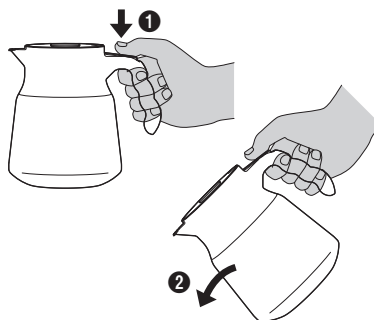
Brew pour over coffee or pour a drink into the product.
Do not fill beyond the point indicated in the diagram. If this product is overfilled, the lid may not close and the contents may overflow, or closing the lid may result in pressure that causes the contents to spray from the product. This may ultimately result in burns. There is also a risk of damage to the product.

4



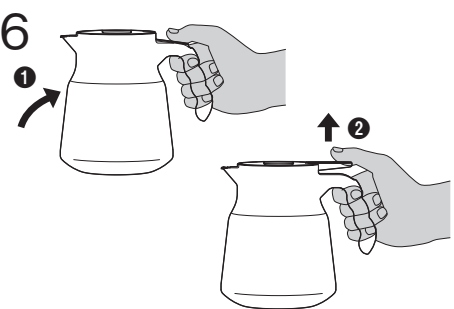
Insert the inner stopper.
Pinch the detachment levers with your fingers and slide them toward the center. Set the inner stopper firmly in place as you do so, aligning the lever with the handle.
Drinks may leak from the product if the inner stopper is not set firmly in place.

5



Begin pouring.
To pour, press the lever, then tilt the body.
If the lever is pressed after tilting, the pressure may cause the contents to spray from the product.

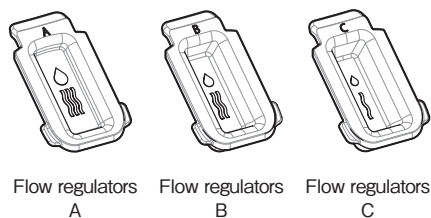
6



Finish pouring.
After pouring, always return the body to a horizontal position before releasing the lever. Releasing the lever with the body tilted may cause liquid to be retained in the inner stopper, which may result in burns.

Adjusting the flow rate

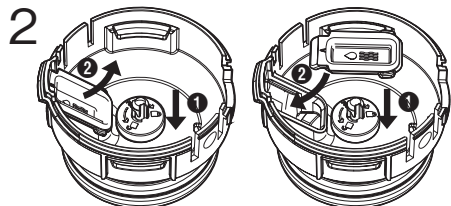
The flow rate when pouring can be adjusted by changing the flow regulator to A, B or C. Flow regulator B provides the standard flow rate and is inserted by default. Replacing flow regulator B with flow regulator A will increase the flow rate, and flow regulator C decreases the flow rate.



Flow regulators A Flow regulators B Flow regulators C

Flow regulators A and C are included in the packaging, store them in a safe place.

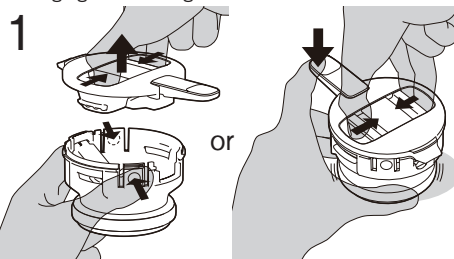
Changing the flow regulator



Remove the flow regulator and insert the flow regulator you wish to use.

Pinch the protruding section of the flow regulator while pushing the shaft cover down, and remove the flow regulator. Keep pushing the shaft cover down and insert the flow regulator you wish to use. Ensure that the flow regulator being inserted is fitted to the flow regulator gasket. First, set the outlet side of the flow regulator so that it attaches to the top surface of the outlet of the inner stopper body.

Changing the flow regulator



Remove the lid from the inner stopper.

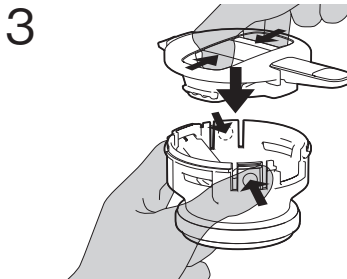
Method 1

Pinch the detachment levers with your fingers and slide them toward the center. Lift the lid while using your fingers to press the two points marked with round indentations on the inside of the inner stopper body.

Method 2

Press and hold the inner stopper onto the base with one hand as you slide the detachment levers to the center with the other. Then, lower the lever.

Changing the flow regulator

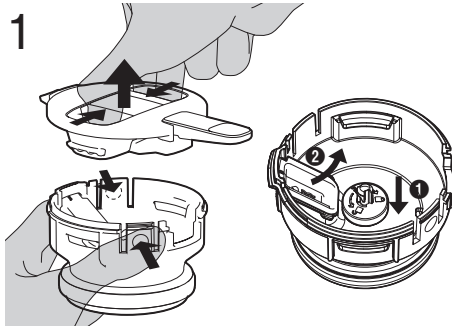


Insert the lid into the inner stopper.

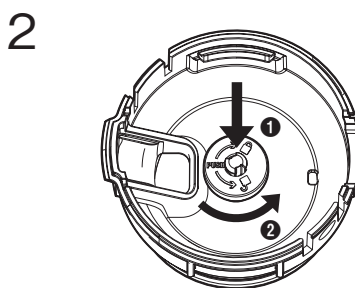
Pinch the detachment levers with your fingers and slide them toward the center. Insert the lid while using your fingers to press the two points marked with round indentations on the inside of the inner stopper body.

Product care

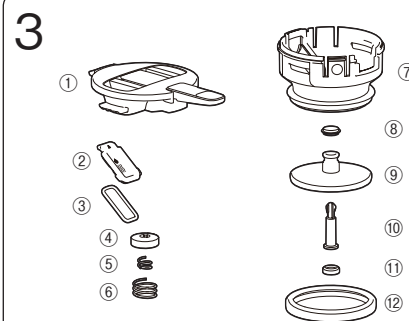
- Soak washing or dishwasher and dish dryers use is not allowed.
- Do not use chlorine bleach, thinners, cleansers, metal scrubbing brushes or chemical cloths on this product.
- After washing, please wipe with a dry cloth immediately. When not using for a long period of time, make sure to clean completely, dry and store in an area with less moisture.
- **Body (exterior)**
Soak a soft cloth in hot water with dish detergent, wring it out firmly and wipe off any stains, then dry with a dry, soft cloth. Please do not use Steel scrubbing brush etc.
- **Body (interior)**
Wash with a long-handled sponge brush soaked in hot water with dish detergent and dry thoroughly.
*When the main body is dirty, please use a stainless steel bottle cleaning agent.
- If red bumps resembling rust occur This residue is formed by minerals such as iron in the water. Fill this product with a warm 10% vinegar solution and leave for around 30 minutes, then thoroughly wash the inside with a soft sponge brush, etc. Rinse thoroughly with clean water until no vinegar remains.
- If a rough residue occurs
This residue is formed by minerals such as calcium in the water. Fill this product with a warm 10% citric acid solution and leave for around 3 hours with the lid off, then thoroughly wash the inside with a soft sponge, etc. Rinse thoroughly with clean water until no citric acid remains.
- **Inner stopper**
Remove the inner stopper gasket and wash with a soft sponge soaked in hot water with dish detergent. Then, rinse well with clean water so that no detergent remains. Always reattach the inner stopper gasket after washing. If you are concerned about dirt inside the inner stopper, you can disassemble it and clean each part using the same method. Refer to "Inner stopper assembly/disassembly" for information on assembling and disassembling the inner stopper.



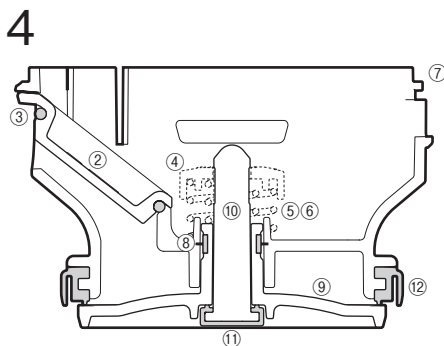
Remove the lid, lever and flow regulator from the inner stopper.
Remove the lid and flow regulator from the inner stopper as described under "Changing the flow regulator".
Remove the lever by pulling it parallel to the lid.



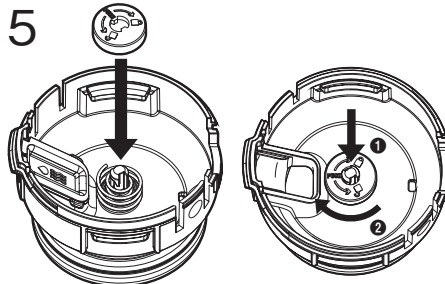
Remove the shaft cover.
While pressing the shaft gasket from the back side with your finger, push the shaft cover down with your other hand and turn it counterclockwise. When the shaft cover stops turning, pull it upward to remove it.



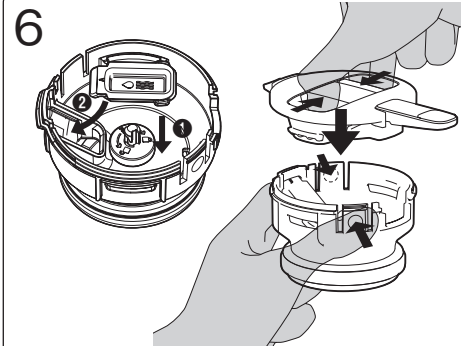
Wash each part.
Removing the shaft cover enables the above parts to be removed. Wash each part with a soft sponge soaked in hot water with dish detergent. Then, rinse well with clean water so that no detergent remains.



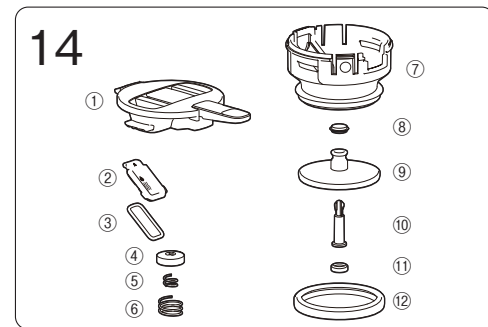
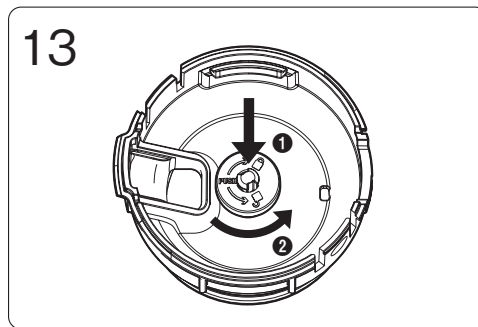
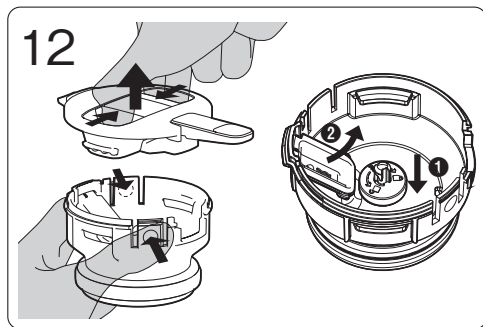
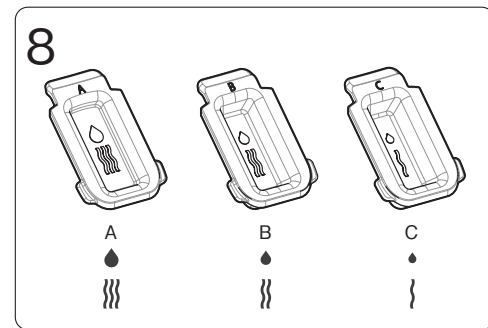
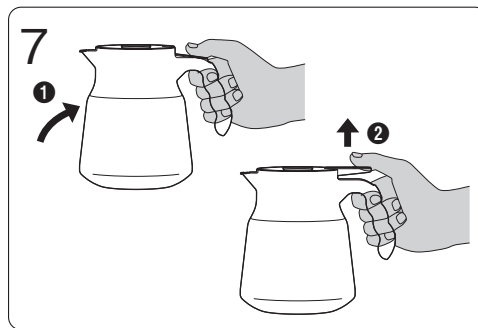
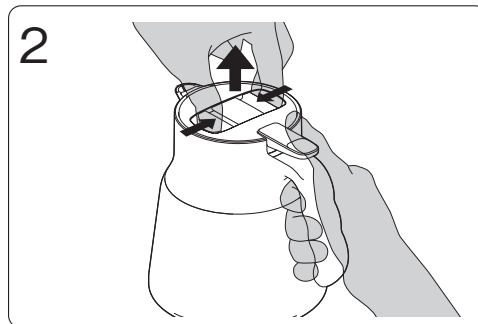
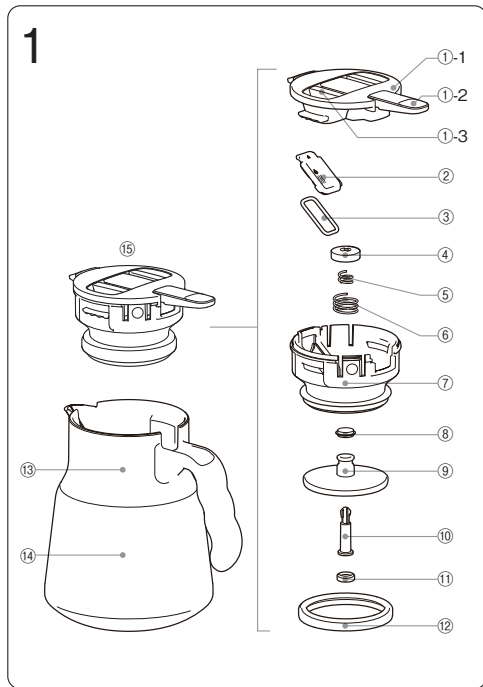
Insert the parts.
Return each part to its original position while referring to the cross-sectional diagram.

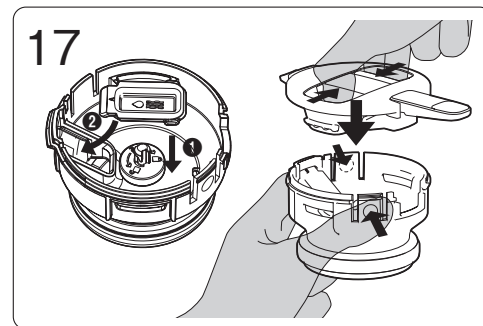
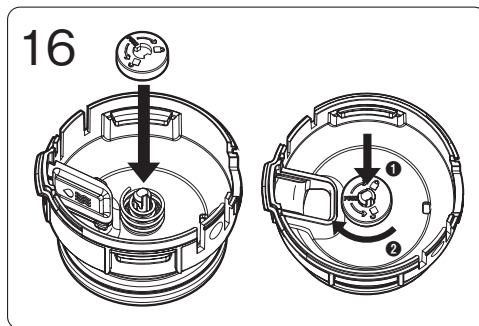
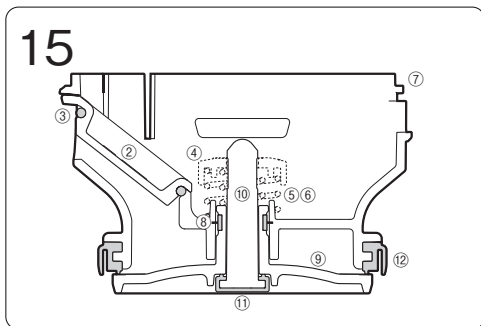
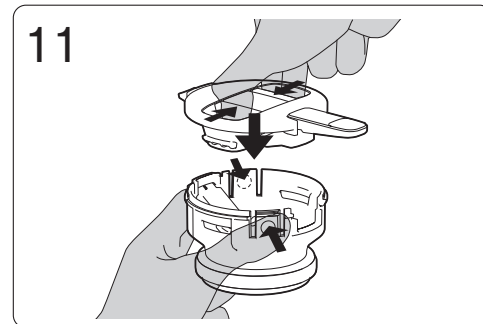
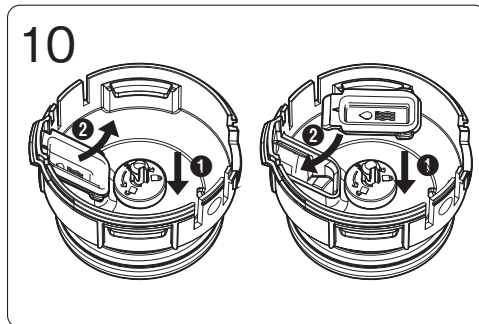
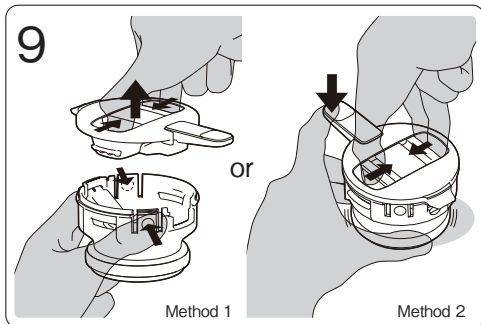
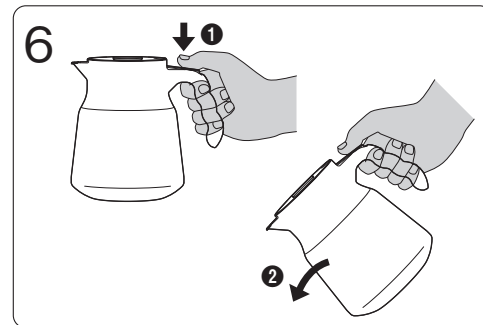
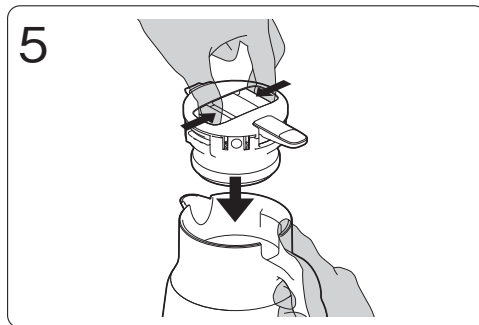
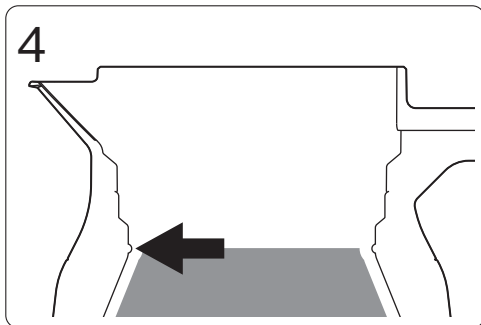


Fit the shaft cover.
Pass both springs through the shaft. While pressing the shaft gasket from the back side with your finger, use your other hand to align the shaft cover with the groove of the shaft, then push the shaft cover down from above, and turn it clockwise. When the shaft cover stops turning, pull it upward to set it in position.



Insert the flow regulator, lever and lid.
Insert the lid and flow regulator into the inner stopper as described under "Adjusting the flow rate". Pass the lever through the pillar of the lid before pushing it into the hinge.





为了正确使用本产品，请务必参照10~11页图片仔细阅读使用说明书。阅读后，请妥善保管使用说明书

材质标识

- ①-1上盖：聚丙烯、ABS树脂（耐热温度100℃）
 - ①-2压杆：ABS树脂（耐热温度100℃）
 - ①-3 开关滑块：聚甲醛（耐热温度100℃）
 - ② 水流栓A、B、C：聚丙烯（耐热温度120℃）
 - ③ 水流栓密封垫：硅橡胶（耐热温度180℃）
 - ④ 轴套：聚甲醛（耐热温度100℃）
 - ⑤ 小弹簧：不锈钢
 - ⑥ 大弹簧：不锈钢
 - ⑦ 中栓主体：聚丙烯（耐热温度120℃）
 - ⑧ 阀密封垫：硅橡胶（耐热温度180℃）
 - ⑨ 阀：聚丙烯（耐热温度120℃）
 - ⑩ 轴：聚丙烯（耐热温度120℃）
 - ⑪ 轴密封垫：硅橡胶（耐热温度180℃）
 - ⑫ 中栓密封垫：硅橡胶（耐热温度180℃）
 - ⑬ 手柄：聚丙烯（耐热温度120℃）
 - ⑭ 主体（内胆、壶身）：不锈钢（外表：丙烯酸树脂涂层）
 - ⑮ 中栓
- MADE IN CHINA

使用注意事项

- △不可使用明火、电磁烹调器、微波炉等加热装置。
- △儿童使用时请对其进行指导，避免儿童独自使用。此外，请勿在幼儿附近处使用，且放置在幼儿无法接触处保管。
- 有裂纹、缺口、严重擦伤的东西有时可能造成意想不到的损坏，请不要使用。
- 请勿用于饮品保温、保冷以外的其他用途。
- 请勿在明火附近使用。
- 请勿给予产品强烈冲击及振动。以免导致漏液、保温保冷效果降低。
- 请勿放入冷冻室保存。

- 请勿使杯口金属接触热铁壶等。
- 使用时请切实盖紧中栓。此外，请确认已正确安装各零件。
- 注入热饮后，请朝向无人方向按下压杆，排出内压后使用。内压可能导致内装物喷出。
- 需在壶内装有饮品的情况下取下中栓时，请按下压杆排出内压后进行操作。
- 请注意避免婴幼儿随意触碰本产品。
- 请勿在倾斜状态下按下压杆。内压可能导致内装物喷出。
- 请勿将保温壶放置在在不稳定的场所。以免保温壶翻倒，导致饮品溢出造成烫伤或弄脏物品。
- 移动时请务必手持主体或手柄。此时，请勿按下压杆。
- 请勿擅自修理、改造保温壶。
- 请勿使用保温壶长时间保存饮品。以免导致腐坏、变质。
- 长时间保存茶水等可能导致茶水变色、变味。请尽早饮用。
- 请将较大的冰块敲碎后放入保温杯，切勿强行塞入。以免导致内壁划伤，出现漏液。
- 切勿在保温壶中放入以下物品。
 - 干冰、碳酸饮料等可能出现内压上升、中栓无法打开或破损飞溅、饮品喷出等情况，导致受伤或弄脏周围物品。
- 牛奶、乳制品、果汁等易腐坏物品
- 长时间放置时，饮品腐坏会导致气体产生，出现内压上升、中栓无法打开或破损飞溅、饮品喷出等情况，导致受伤或弄脏周围物品。
- 味噌汤、汤品等含盐饮品
- 盐分会导致生锈、腐坏、变质。
- 茶叶、果肉等
- 此类食品会堵塞中栓内部，导致漏液、烫伤或弄脏周围物品。
- 放置滤杯使用时，请注意避免翻倒。
- 不同滤杯种类可能出现无法平稳放置的情况。此时，请勿强行使用不适合的滤杯。
- 若保温壶破损，在处理时请充分注意避免受伤。
- 废弃时，请按照当地政府的要求分类。
- 请勿撕下主体底面中央的标签。

使用方法

取下中栓。
请用手指捏住开关滑块，向中央滑动滑块并提起中栓。（参照图2）

放置滤杯。（滴漏咖啡时）
取下中栓并放上滤杯。使用前，请务必确认滤杯已放置平稳。（参照图3）

滴漏咖啡、或直接注入饮品。
注入饮品时，请勿超过图中所示位置。注入过多饮品时，可能出现上盖无法盖紧导致饮品溢出，亦或上盖盖紧后，内装物因内压喷出的情况，从而引起烫伤。此外，还可能导致产品破损。（参照图4）

安装中栓。
请用手指捏住开关滑块，向中央滑动滑块并对准压杆与手柄方向切实安装中栓。若未切实安装中栓，可能导致饮品漏出。（参照图5）

倒出饮品。
倒出饮品时，请按下压杆后倾斜主体。
若倾斜后按下压杆，则内压可能导致内装物喷出。（参照图6）

倒完饮品。
倒完饮品后，请务必放正主体后松开压杆。若在倾斜的状态下松开压杆，可能导致中栓内残留饮品，引起烫伤等。（参照图7）

水流量调节方法

本产品可根据个人喜好,通过更换水流栓A、B、C,调节注水时的水流量。初始安装的水流栓B为标准水流量。安装水流栓A时水流量较大,安装水流栓C时则水流量较小。产品附带水流栓A、C,请注意避免遗失。(参照图8)

■水流栓更换方法

从中栓上取下上盖组件。

方法①

请用手指按压中栓主体侧面的2处圆形凹陷处,同时用手指捏住开关滑块,向中央滑动滑块并提起上盖。

方法②

请将中栓抵在台面上,用另一只手向中央滑动开关滑块,并在该状态下向下按压压杆。

(参照图9)

取下水流栓后,根据喜好安装所需水流栓。

请向下按压轴套,同时捏住水流栓凸起部并取下。按住轴套,并根据喜好安装所需水流栓。此时,请确认安装的水流栓带有水流栓密封垫。首先请将水流栓出口侧安装在中栓主体的出口顶部。

(参照图10)

将上盖组件安装在中栓上。

请用手指按压中栓主体侧面的2处圆形凹陷处,同时用手指捏住开关滑块,向中央滑动滑块并安装上盖组件。

(参照图11)

保养方法

●请勿浸泡、或使用洗碗机及餐具烘干机。

●请勿使用氯系漂白剂、稀释剂、去污粉、金属洗刷、化学抹布等。

●清洗干净后,请立即用干布将水擦拭干净。

长时间不使用时,请充分清洗脏污并干燥,放置在湿度较低的场所保管。

■主体(外侧)

请使用柔软的布沾取以热水稀释的餐具洗涤剂,拧干并擦去污渍后,再使用柔软的干布擦拭干净。

■主体(内侧)

请使用附带手柄的海绵刷子沾取以热水稀释的餐具洗涤剂清洗,并充分干燥。主体脏污较重时,请使用不锈钢杯清洁剂。

●出现红色锈斑时

该现象由水中所含铁等附着所导致。请在壶中放入混有10%食醋的温水放置约30分钟,并使用柔软的海绵刷子等充分清洗内侧。清洗后,用清水充分冲洗残留的食醋。

●附着粗糙物时

该现象由水中所含钙等附着所导致。请在壶中放入混有10%柠檬酸的温水,打开上盖放置约3小时,并使用柔软的海绵等充分清洗内胆内侧。清洗后,用清水充分冲洗残留的柠檬酸。

■中栓

请取下中栓密封垫,使用柔软的海绵沾取以热水稀释的餐具洗涤剂清洗。清洗后,用清水充分冲洗残留的洗涤剂。清洗后请务必安装中栓密封垫。中栓内部脏污时,可采用相同的方法分解清洗各零件。分解及组装方法请参见“关于中栓的分解及组装”。

关于中栓的分解及组装

从中栓上取下上盖组件、压杆、水流栓。

请参考“水流栓更换方法”从中栓上取下上盖组件与水流栓。

请沿上盖组件平行方向拉动压杆取下。

(参照图12)

取下轴套。

请用手指从内侧按住轴密封垫,同时用另一只手下按压轴套并逆时针旋转。于停止处向上提起即可取下轴套。

(参照图13)

清洗各零件。

取下轴套后,即可取下上述各零件。请使用柔软的海绵沾取以热水稀释的餐具洗涤剂清洗各零件。清洗后,用清水充分冲洗残留的洗涤剂。

(参照图14)

安装各零件。

请参照截面图,将各零件重新安装在正确位置。

(参照图15)

安装轴套。

请将2个弹簧穿于轴上。请用手指从内侧按住轴密封垫,同时对准轴凹槽用另一只手下按压轴套并顺时针旋转。于停止处向上提起轴套即完成安装。

(参照图16)

安装水流栓、压杆、上盖组件。

请参考“水流量调节方法”将上盖组件与水流栓安装在中栓上。

请将压杆穿过上盖组件的支柱后压入铰链中。

(参照图17)

為了正確使用，請務必看著記載於10頁至11頁的圖，詳閱本使用說明書。此外，詳閱之後，請妥善保存。

材質標記

參閱圖1

- ①-1 蓋子：聚丙烯、ABS樹脂（耐熱溫度100℃）
- ①-2 壓桿：ABS樹脂（耐熱溫度100℃）
- ①-3 裝卸滑桿：聚甲醛（耐熱溫度100℃）
- ② 水栓A,B,C：聚丙烯（耐熱溫度120℃）
- ③ 水栓墊片：矽橡膠（耐熱溫度180℃）
- ④ 軸套：聚甲醛（耐熱溫度100℃）
- ⑤ 小彈簧：不鏽鋼
- ⑥ 大彈簧：不鏽鋼
- ⑦ 中栓本體：聚丙烯（耐熱溫度120℃）
- ⑧ 閥墊片：矽橡膠（耐熱溫度180℃）
- ⑨ 閥：聚丙烯（耐熱溫度120℃）
- ⑩ 軸：聚丙烯（耐熱溫度120℃）
- ⑪ 軸墊片：矽橡膠（耐熱溫度180℃）
- ⑫ 中栓墊片：矽橡膠（耐熱溫度180℃）
- ⑬ 把手：聚丙烯（耐熱溫度120℃）
- ⑭ 本體（內膽、壺身）：不鏽鋼（外裝：壓克力樹脂塗裝）
- ⑮ 中栓

MADE IN CHINA

使用注意事項

△無法用於直火、電磁爐和微波爐等加熱器具。
△孩童使用時，請指導使用注意事項，並且避免讓孩童獨自使用。此外，請勿在幼童旁邊使用，或者放在幼童拿得到的地方。

- 有裂痕、破損、嚴重擦傷的東西，有時可能造成意想不到的損壞，請不要使用。
- 請千萬不要用於飲料保溫、保冷之外的用途。
- 請勿在煙火旁邊使用。
- 請勿對產品施加強烈的撞擊、震動。否則會造成漏出和保溫保冷效果降低。
- 請勿放入冰凍庫。

- 請勿將熱的水壺等抵在金屬壺口。
 - 使用時，請確實拴緊中栓。此外，請確認各零件正確安裝。
 - 裝入熱飲時，請先朝無人的方向按下壓桿，卸除內壓之後使用。內容物可能因內壓而噴出。
 - 在有內容物的狀態下，卸下中栓時，請先按下壓桿，卸除內壓之後卸下。
 - 敬請注意，避免嬰幼兒亂玩。
 - 請勿傾斜之後，按下壓桿。內容物可能因內壓而噴出。
 - 請勿放在不穩定的地方。飲料可能因保溫壺翻倒而灑出，造成燙傷或弄髒物品。
 - 端運時，請務必拿著本體或把手。此時，請勿按下壓桿。
 - 請千萬不要進行修理、改造。
 - 在裝入飲料的狀態下，請勿長時間放置。否則會造成腐敗或變質。
 - 若是長時間保存茶等，茶的顏色和味道可能改變。請盡早飲用。
 - 放入大冰塊的情況下，請勿壓入，而是弄碎成小塊之後放入。否則會造成損傷或漏出。
 - 請千萬不要裝入下列物品。
 - ・乾冰、碳酸飲料等可能內壓上升，中栓打不開、破損飛散，或者飲料噴出等，造成受傷或弄髒周圍。
 - ・牛奶、乳製品、果汁等容易腐敗的飲料
- 直接長時間放置的情況下，可能因腐敗等而產生氣體，內壓上升，中栓打不開、破損飛散，或者飲料噴出等，造成受傷或弄髒周圍。
- ・味噌湯、湯品等含有鹽分的液體
- 可能因鹽分而造成生鏽、腐敗或變質。
- ・茶葉、果肉等
- 可能堵在中栓的內部而漏出，造成燙傷或弄髒周圍。
- 放上濾杯使用時，敬請注意，避免翻倒。
 - 依濾杯的種類而定，可能無法穩妥放上。該情況下，請勿勉強使用。
 - 破損時，請充分小心處理碎片，避免受傷。
- 丟棄時，請依照各地區政府的指示進行分類。
- 請勿撕掉本體底面中央的貼紙。

使用方法

卸下中栓。
請拎著裝卸滑桿，使其滑向中央拎起。
（參閱圖2）

放上濾杯。（滴漏咖啡的情況下）
卸下中栓，放上濾杯。請務必確認濾杯穩定之後使用。
（參閱圖3）

滴漏咖啡，或者直接裝入飲料。
裝入飲料時，請勿超過圖的位置。若是裝太滿，可能蓋子蓋不上，內容物溢出，或者即使蓋子蓋得上，內容物因內壓而噴出，造成燙傷。此外，可能造成產品破損。
（參閱圖4）

安裝中栓。
請拎著裝卸滑桿，使其滑向中央，對準壓桿和把手的方向，確實安裝。若是中栓沒有確實安裝，飲料可能漏出。
（參閱圖5）

開始倒飲料。
請按下壓桿之後，傾斜本體倒飲料。
若是傾斜之後，按下壓桿，內容物可能因內壓而噴出。
（參閱圖6）

倒完飲料。
倒完之後，請務必將傾斜的本體放正，放開壓桿。若是在傾斜本體的狀態下，放開壓桿，飲料可能殘留在中栓內，造成燙傷等。
（參閱圖7）

調整流量的方法

本產品能夠更換水栓A,B,C,將倒飲料時的流量變成個人喜好的量。一開始安裝的水栓B是標準流量。更換成水栓A,流量變多;更換成水栓C,流量變少。水栓A,C隨附在包裝內,敬請注意,避免遺失。

(參閱圖8)

■水栓的更換方法

從中栓卸下整套蓋子。

方法①

請按著位於中栓本體側面的2個圓形凹處,拎著裝卸滑桿,使其滑向中央拎起。

方法②

請將中栓按在台面上,以另一隻手將裝卸滑桿滑向中央。請在此狀態下,壓下壓桿。

(參閱圖9)

卸下水栓,安裝個人喜好的水栓。

請壓下軸套,拎著水栓的突起部分卸下。壓下軸套,安裝個人喜好的水栓。此時,請確認水栓墊片附著於安裝的水栓。請先將水栓的出水側套在中栓本體的上方出水面安裝。

(參閱圖10)

將整套蓋子安裝於中栓。

請按著位於中栓本體側面的2個圓形凹處,拎著裝卸滑桿,使其滑向中央,安裝整套蓋子。

(參閱圖11)

保養方法

●請勿浸泡在洗碗精,或者使用洗碗機、烘碗機。

●請勿使用氯系漂白劑、稀釋劑、去污粉、金屬刷、化學抹布等。

●洗淨後,請馬上以乾布擦乾水分。

長時間不使用時,請充分清除髒污,使其乾燥,保存於濕氣低的地方。

■本體(外裝)

請將柔軟的布沾以熱水稀釋的洗碗精,用力擰乾,擦掉髒污後,以柔軟的布擦乾。

■本體(內側)

請將有柄的海綿刷沾以熱水稀釋的洗碗精刷洗,使其充分乾燥。本體嚴重髒污時,請使用不鏽鋼保溫瓶洗淨劑。

●產生像是生鏽的紅色斑點的情況下

它是水中所含的鐵質等附著。請將加入10%左右食用醋的溫水倒入本體,放置30分鐘左右後,以柔軟的海綿刷等,仔細刷洗內膽的內壁。接著,請以乾淨的水仔細沖洗,避免食用醋殘留。

●粗糙的物質附著的情況下

它是水中所含的鈣等附著。請將加入10%左右檸檬酸的溫水倒入本體,不要安裝蓋子,放置3小時左右後,以柔軟的海綿等,仔細刷洗內膽的內壁。接著,請以乾淨的水仔細沖洗,避免檸檬酸殘留。

■中栓

請卸下中栓墊片,將柔軟的海綿沾以熱水稀釋的洗碗精洗淨。接著,請以乾淨的水仔細沖洗,避免洗碗精殘留。洗淨後,請務必安裝中栓墊片。在意中栓內部的髒污時,能夠拆解,以同樣的方法洗淨各零件。拆解、組裝的方法請確認「關於中栓的拆解、組裝」。

關於中栓的拆解、組裝

從中栓卸下整套蓋子、壓桿和水栓。

請參考「水栓的更換方法」,從中栓卸下整套蓋子和水栓。請從整套蓋子平行拉開壓桿卸下。

(參閱圖12)

卸下軸套。

請從後方按著軸墊片,另一隻手壓下軸套,逆時針方向旋轉。停止之後,向上拉起軸套,就能卸下。

(參閱圖13)

洗淨各零件。

卸下軸套之後,能夠卸下上述各零件。請將柔軟的海綿沾以熱水稀釋的洗碗精,洗淨各零件。接著,請以乾淨的水仔細沖洗,避免洗碗精殘留。

(參閱圖14)

安裝各零件。

請看著斷面圖,將各零件安裝在原本的地方。

(參閱圖15)

安裝軸套。

請將2個彈簧穿過軸。請從後方按著軸墊片,另一隻手將軸套對準承的溝縫,從上方壓下,順時針方向旋轉。停止之後,向上拉起軸套,就能安裝。

(參閱圖16)

安裝水栓、壓桿和整套蓋子。

請參考「調整流量的方法」,將整套蓋子和水栓安裝在中栓。

請將壓桿穿過整套蓋子的支柱之後,壓入鉸鏈中。

(參閱圖17)

올바른 사용을 위해 P.10~11에 기재된 그림을 보면서 이 사용설명서를 반드시 읽으십시오. 다 읽은 후에는 잘 보관하십시오.

재질 표기

그림 1 참조

- ①-1 뚜껑: 폴리프로필렌, ABS 수지(내열 온도 100°C)
- ①-2 레버: ABS 수지(내열 온도 100°C)
- ①-3 탈착 손잡이: 폴리아세탈(내열 온도 100°C)
- ② 유량 조절 장치 A, B, C: 폴리프로필렌(내열 온도 120°C)
- ③ 유량 조절 장치 패킹: 실리콘 고무(내열 온도 180°C)
- ④ 샤프트 커버: 폴리아세탈(내열 온도 100°C)
- ⑤ 스프링(소): 스테인리스
- ⑥ 스프링(대): 스테인리스
- ⑦ 마개 본체: 폴리프로필렌(내열 온도 120°C)
- ⑧ 밸브 패킹: 실리콘 고무(내열 온도 180°C)
- ⑨ 밸브: 폴리프로필렌(내열 온도 120°C)
- ⑩ 샤프트: 폴리프로필렌(내열 온도 120°C)
- ⑪ 샤프트 패킹: 실리콘 고무(내열 온도 180°C)
- ⑫ 마개 패킹: 실리콘 고무(내열 온도 180°C)
- ⑬ 핸들: 폴리프로필렌(내열 온도 120°C)
- ⑭ 본체(몸통 내부 및 외부): 스테인리스(외장: 아크릴 수지 도장)
- ⑮ 마개

MADE IN CHINA

취급상의 주의

- △ 직화, 전자 조리기, 전자레인지 등의 가열 기구에서는 사용할 수 없습니다.
- △ 어린이가 사용할 때는 사용상의 주의 사항을 지도하고 반드시 보호자가 함께 사용하십시오.
유아 옆에서 사용하거나, 유아의 손이 닿는 장소에 두지 마십시오.

- 금, 이 빠짐, 심한 스크래치가 생긴 제품은 예기치 못한 때에 파손될 수 있으므로 사용하지 마십시오.
- 음료의 보온 및 보냉 이외의 목적으로는 절대로 사용하지 마십시오.
- 화기 근처에서 사용하지 마십시오.
- 제품에 강한 충격이나 진동을 가하지 마십시오. 누수되거나 보온 보냉 효과가 저하되는 원인이 됩니다.
- 냉동고에 넣지 마십시오.

- 뜨거운 주전자 등을 입구에 직접 대지 마십시오.
- 사용할 때는 마개를 확실히 닫으십시오. 또한 각 부품이 올바르게 장착되어 있는지 확인하십시오.
- 뜨거운 음료를 넣었을 때는 사람이 없는 방향을 향해 레버를 눌러 내부 압력을 뺀 후 사용하십시오. 내부 압력으로 내용물이 분출될 수 있습니다.
- 내용물이 들어 있는 상태에서 마개를 열 때는 레버를 눌러 내부 압력을 뺀 후 여십시오.
- 영유아의 장난에 주의하십시오.
- 기울인 상태에서 레버를 누르지 마십시오. 내부 압력으로 내용물이 분출될 수 있습니다.
- 불안정한 장소에 두지 마십시오. 넘어져 음료가 쏟아지면 화상이나 주위 오염의 원인이 됩니다.
- 들고 이동할 때는 반드시 본체 또는 핸들을 잡으십시오. 이때 레버는 누르지 마십시오.
- 절대로 수리하거나 개조하지 마십시오.
- 음료를 넣은 상태로 장시간 방치하지 마십시오. 부패나 변질의 원인이 됩니다.
- 차 등은 장시간 보관하면 색과 맛이 변할 수 있습니다. 빠른 시간 내에 드십시오.
- 큰 얼음을 넣을 때는 억지로 밀어 넣지 말고 작게 부수어 넣으십시오. 흠집이나 누수의 원인이 됩니다.
- 다음은 절대로 넣지 마십시오.
 - 드라이아이스, 탄산음료 등내부 압력이 상승하여 마개가 열리지 않거나 파손되어 사방으로 튀거나 음료가 분출하는 등 부상이나 주위 오염의 원인이 됩니다.
- 우유, 유제품, 과즙 등 쉽게 부패하는 것
- 그대로 장시간 방치하면 부패 등으로 발생하는 가스로 인해 내부 압력이 상승하여 마개가 열리지 않거나 파손되어 사방으로 튀거나 음료가 분출하는 등 부상이나 주위 오염의 원인이 됩니다.
- 된장국, 수프 등 염분이 있는 것
- 염분으로 인해 녹이 슬고 부패나 변질의 원인이 됩니다.
- 찹쌀, 과육 등
- 마개 내부에 막히면서 누수로 인한 화상이나 주위 오염의 원인이 됩니다.
- 드리퍼를 올려놓고 사용할 때는 넘어지지 않도록 주의하십시오.
- 드리퍼 종류에 따라서는 안정적으로 올려놓지 못할 수 있습니다. 억지로 올려놓고 사용하지 마십시오.
- 파손되었을 때는 다치지 않도록 충분히 주의하여 사용하십시오.
- 폐기할 때는 각 자치단체의 지시에 따라 분리처분하십시오.
- 본체 바닥면에 부착되어 있는 스티커는 떼어내지 마십시오.

사용 방법

마개를 연다.

탈착 손잡이를 손가락으로 잡고 가운데 방향으로 슬라이드하면서 들어 올리십시오. (그림 2 참조)

드리퍼를 올려놓는다. (커피를 드립하는 경우)

마개를 열고 드리퍼를 올려놓습니다. 반드시 드리퍼가 안정적으로 놓여져 있는지 확인하고 사용하십시오. (그림 3 참조)

커피를 드립하거나 그대로 음료를 넣는다.

음료는 그림에 표시된 위치 이상으로 넣지 마십시오. 지나치게 많이 넣으면 뚜껑을 닫을 때 내용물이 넘쳐흐르거나 뚜껑을 닫아도 내부 압력으로 내용물이 분출할 수 있어 화상의 원인이 됩니다. 또한 제품 파손의 원인이 됩니다. (그림 4 참조)

마개를 닫는다.

탈착 손잡이를 손가락으로 잡고 가운데 방향으로 슬라이드하면서 레버와 핸들의 방향을 맞춰 확실히 닫으십시오. 마개가 확실히 닫히지 않으면 음료가 새어나올 수 있습니다. (그림 5 참조)

음료를 따른다.

레버를 누르면서 본체를 기울여 음료를 따르십시오. 본체를 기울인 후 레버를 누르면 내부 압력으로 내용물이 분출될 수 있습니다. (그림 6 참조)

음료 따르기를 마친다.

음료를 다 따랐으면 반드시 기울어진 본체를 원래 상태로 되돌린 후 레버에서 손가락을 떼십시오. 본체를 기울인 상태로 레버에서 손가락을 떼면 마개 내에 음료가 남아 화상 등의 원인이 됩니다. (그림 7 참조)

유량 조절 방법

이 제품은 유량 조절 장치 A, B, C를 교체하면 다를 때 나오는 양을 원하는 대로 변경할 수 있습니다. 처음에 장착되어 있는 유량 조절 장치 B는 표준 유량입니다. 유량 조절 장치 A로 교체하면 나오는 양이 많아지며, 유량 조절 장치 C로 교체하면 나오는 양이 적어집니다. 유량 조절 장치 A, C는 제품 패키지에 동봉되어 있으므로 분실하지 않도록 주의하십시오.

(그림 8 참조)

■ 유량 조절 장치 교체 방법

마개에서 뚜껑을 분리한다.

방법①

마개 본체 옆면에 있는 2곳의 동글고 오목한 홈을 손가락으로 누르면서 탈착 손잡이를 손가락으로 잡고 가운데 방향으로 슬라이드하면서 들어 올리십시오.

방법②

마개를 받침대 위에 대고 누르면서 반대 손으로 탈착 손잡이를 잡고 가운데 방향으로 슬라이드합니다. 그 상태로 레버를 아래로 눌러 주십시오.

(그림 9 참조)

유량 조절 장치를 분리하고 원하는 유량 조절 장치를 끼운다. 샤프트 커버를 아래로 누르면서 유량 조절 장치의 돌기부를 잡고 분리하십시오. 샤프트 커버를 아래로 누른 채 원하는 유량 조절 장치를 끼웁니다. 이때 끼우는 유량 조절 장치에 유량 조절 장치 패킹이 장착되어 있는지 확인하십시오. 먼저 유량 조절 장치의 출구 쪽을 마개 본체의 출구 윗면에 걸치도록 끼우십시오.

(그림 10 참조)

뚜껑을 마개에 끼운다.

마개 본체 옆면에 있는 2곳의 동글고 오목한 홈을 손가락으로 누르면서 탈착 손잡이를 손가락으로 잡고 가운데 방향으로 슬라이드하면서 뚜껑을 끼우십시오.

(그림 11 참조)

관리 방법

● 물에 담가두거나, 식기 세척기와 식기 건조기는 사용하지 마십시오.

● 염소계 표백제, 시너, 클렌저, 금속 수세미, 화학 걸레 등은 사용하지 마십시오.

● 세척 후에는 바로 마른 천으로 물기를 제거하십시오. 장시간 사용하지 않을 때는 꼼꼼히 오염을 제거하고 건조시킨 후 습하지 않은 장소에 보관하십시오.

■ 본체(외부)

따뜻한 물에 희석한 식기용 세제를 묻혀 짝 짝 부드러운 천으로 오염을 제거하십시오. 부드러운 마른 천으로 닦아 마무리하십시오.

■ 본체(내부)

따뜻한 물에 희석한 식기용 세제를 손잡이가 달린 스펀지 브러지에 묻혀 세척한 후 충분히 건조시키십시오. 본체의 오염이 심할 때는 스테인리스 전용 세제를 사용하십시오.

● 녹 같은 붉은 얼룩이 생긴 경우

물에 함유된 철분 등이 부착된 것입니다. 식초를 10% 정도 희석한 미지근한 물을 본체에 넣고 30분 정도 둔 후 부드러운 스펀지 브러시 등을 사용하여 본체 내부를 세척하십시오. 세척이 끝나면 식초가 남지 않도록 깨끗한 물로 꼼꼼히 헹구십시오.

● 까끌까끌한 이물질이 생긴 경우

물에 함유된 칼슘 등이 부착된 것입니다. 구연산을 10% 정도 희석한 미지근한 물을 본체에 넣고 뚜껑을 닫지 않은 상태로 3 시간 정도 둔 후 부드러운 스펀지 등을 사용하여 본체 내부를 세척하십시오. 세척이 끝나면 구연산이 남지 않도록 깨끗한 물로 꼼꼼히 헹구십시오.

■ 마개

마개 패킹을 분리하여 따뜻한 물에 희석한 식기용 세제를 묻힌 부드러운 스펀지로 세척하십시오. 세척이 끝나면 세제가 남지 않도록 깨끗한 물로 꼼꼼히 헹구십시오. 마개 패킹은 세척 후 반드시 원래대로 장착하십시오. 마개 내부의 오염이 심할 때는 분해하여 각 부품을 동일한 방법으로 세척할 수 있습니다. 분해 및 조립 방법은 ‘마개의 분해 및 조립’을 확인하십시오.

마개의 분해 및 조립

마개에서 뚜껑, 레버, 유량 조절 장치를 분리한다.

‘유량 조절 장치 교체 방법’을 참고하여 마개에서 뚜껑과 유량 조절 장치를 분리하십시오. 레버는 뚜껑에서 수평으로 잡아당겨 분리하십시오. (그림 12 참조)

샤프트 커버를 분리한다.

샤프트 패킹을 뒤쪽에서 손가락으로 누르면서 다른 한쪽 손으로 샤프트 커버를 아래로 누르고 반시계 방향으로 돌리십시오. 멈춘 곳에서 샤프트 커버를 위로 올리면 분리됩니다. (그림 13 참조)

각 부품을 세척한다.

샤프트 커버를 분리하면 위의 각 부품을 분리할 수 있습니다. 각 부품은 따뜻한 물에 희석한 식기용 세제를 묻힌 부드러운 스펀지로 세척하십시오. 세척이 끝나면 세제가 남지 않도록 깨끗한 물로 꼼꼼히 헹구십시오. (그림 14 참조)

각 부품을 끼운다.

단면도를 보면서 각 부품을 원래 위치에 끼우십시오. (그림 15 참조)

샤프트 커버를 끼운다.

샤프트에 2개의 스프링을 끼우십시오. 샤프트 패킹을 뒤쪽에서 손가락으로 누르면서 다른 한쪽 손으로 샤프트 커버를 샤프트 홈에 맞추면서 아래로 누르고 시계 방향으로 돌리십시오. 멈춘 곳에서 샤프트 커버를 위로 올리면 끼울 수 있습니다. (그림 16 참조)

유량 조절 장치, 레버, 뚜껑을 끼운다.

‘유량 조절 방법’을 참고하여 마개에 뚜껑과 유량 조절 장치를 끼우십시오. 레버는 뚜껑의 기둥을 통과시켜 힌지에 밀어 넣으십시오. (그림 17 참조)

Beachten Sie die Abbildungen auf den Seiten 10 und 11 und lesen Sie diese Bedienungsanleitung aufmerksam durch, um das Produkt korrekt zu verwenden. Bewahren Sie diese Anleitung nach dem Lesen an einem sicheren Ort auf, um später darauf zurückgreifen zu können.

Material-Übersicht

Siehe Abb. 1

- ①-1 Deckel: Polypropylen, ABS-Harz (hitzebeständig bis 100°C)
 - ①-2 Hebel: ABS-Harz (hitzebeständig bis 100°C)
 - ①-3 Lösehebel: Polyacetal (hitzebeständig bis 100°C)
 - ② Durchflussregler A, B und C: Polypropylen (hitzebeständig bis 120°C)
 - ③ Durchflussreglerdichtung: Silikongummi (hitzebeständig bis 180°C)
 - ④ Wellenabdeckung: Polyacetal (hitzebeständig bis 100°C)
 - ⑤ Kleine Feder: Rostfreier Stahl
 - ⑥ Große Feder: Rostfreier Stahl
 - ⑦ Innerer Stopfen – Körper: Polypropylen (hitzebeständig bis 120°C)
 - ⑧ Ventildichtung: Silikongummi (hitzebeständig bis 180°C)
 - ⑨ Ventil: Polypropylen (hitzebeständig bis 120°C)
 - ⑩ Welle: Polypropylen (hitzebeständig bis 120°C)
 - ⑪ Wellendichtung: Silikongummi (hitzebeständig bis 180°C)
 - ⑫ Innerer Stopfen – Dichtung: Silikongummi (hitzebeständig bis 180°C)
 - ⑬ Griff: Polypropylen (hitzebeständig bis 120°C)
 - ⑭ Körper (innere Flasche, Körper): Rostfreier Stahl (außen: Acrylharzbeschichtung)
 - ⑮ Innerer Stopfen
- HERGESTELLT IN CHINA

Vorsichtsmaßnahmen zum Gebrauch

⚠ Keinen offenen Flammen aussetzen. Nicht mit Mikrowellen-herden oder Induktionskochgeräten verwenden.

⚠ Wenn ein Kind dieses Produkt verwendet, ist die Aufsicht eines Erwachsenen erforderlich. Vor der Verwendung sollten alle Vorsichtsmaßnahmen erklärt werden. Bei Verwendung in der Nähe von Kindern ist äußerster Vorsicht geboten. Außerhalb der Reichweite von Kindern aufbewahren.

- Verwenden Sie das Produkt nicht, wenn es Sprünge hat, Risse aufweist oder stark verkratzt ist, da es plötzlich zerbrechen könnte.
- Nicht für andere Zwecke als zum Warm-/Kalthalten von Getränken verwenden.
- Nicht in der Nähe von Feuer verwenden.
- Der Behälter darf keinen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt werden.
- Nicht in den Gefrierschrank tun.

● Achten Sie darauf, dass der heiße Wasserkocher nicht mit der Öffnung des Behälters in Berührung kommt.

● Achten Sie beim Schließen des Deckels darauf, dass er vollständig geschlossen ist. Achten Sie bitte auch darauf, dass alle Teile richtig eingestellt und fest verschlossen sind.

● Drücken Sie nach dem Befüllen mit einem Heißgetränk den Hebel, um Druck abzulassen. Richten Sie das Produkt dabei von Personen weg, da der Druck im Inneren dazu führen kann, dass der Inhalt verspritzt wird.

● Wenn Sie den inneren Stopfen entfernen, während sich Flüssigkeit im Produkt befindet, drücken Sie den Hebel einmal, um Druck aus dem Inneren abzulassen, und entfernen Sie danach den inneren Stopfen.

● Bitte bedenken Sie, dass Kinder neugierig sind und nicht unbeaufsichtigt mit dem Produkt gelassen werden sollten.

● Kippen Sie dieses Produkt nicht, bevor Sie den Hebel nach unten gedrückt haben, da der Druck im Inneren dazu führen kann, dass der Inhalt herausspritzt.

● Stellen Sie dieses Produkt nicht auf eine instabile Oberfläche. Dies könnte dazu führen, dass das Produkt umkippt und der Inhalt verschüttet wird, was zu Verbrennungen oder zum Verschmutzen von Gegenständen in der Nähe führen kann.

● Halten Sie beim Tragen des Produkts den Körper oder den Griff fest. Drücken Sie beim Tragen nicht auf den Hebel.

● Versuchen Sie niemals, dieses Produkt zu reparieren, auseinanderzubauen oder zu modifizieren.

● Belassen Sie Getränke nicht über einen längeren Zeitraum in diesem Produkt. Dies kann zu Korrosion oder Verformung führen.

● Verfallsdaten oder Ablagerungen können auftreten, wenn Getränke wie z. B. Tee über einen längeren Zeitraum in diesem Produkt verbleiben.

● Zerbrechen Sie große Eiswürfel in kleinere Stücke, bevor Sie sie in dieses Produkt geben. Andernfalls kann es zu Kratzern oder undichten Stellen kommen.

● Folgendes sollte nicht in das Produkt gegeben werden.

• Trockeneis und kohlenensäurehaltige Getränke

Diese können dazu führen, dass sich im Inneren des Produkts ein Druck aufbaut, wodurch sich der innere Stopfen nicht mehr öffnen lässt, Produktteile beschädigt werden oder zerbrechen können oder Flüssigkeit aus dem Produkt spritzt. Dies kann letztlich zu Verletzungen oder Verschmutzungen führen.

• Milch, Molkereiprodukte, Fruchtsaft und andere verderbliche Lebensmittel

Gase, die beim Zerfall dieser Produkte freigesetzt werden, wenn sie über einen längeren Zeitraum im Produkt verbleiben, können zu einem Druckaufbau im Produkt führen, wodurch sich der innere Stopfen nicht mehr öffnen lässt, Produktteile beschädigt werden oder zerbrechen können oder Flüssigkeit aus dem Produkt spritzt. Dies kann letztlich zu Verletzungen oder Verschmutzungen führen.

• Misosuppe / salzhaltige Suppen Der Salzgehalt kann zu Rost, Fäulnis oder Zersetzung führen.

• Teeblätter / Fruchtfleisch Diese können die Öffnungen verstopfen und durch Auslaufen Verbrennungen verursachen oder die Umgebung verschmutzen.

● Achten Sie darauf, dass das Produkt nicht umkippt, wenn Sie den Tropfer darauf stellen.

● Tropfer von anderen Herstellern als HARIO passen möglicherweise nicht gut auf dieses Produkt. Versuchen Sie nicht, sie in die richtige Position zu zwingen.

● Gehen Sie in dem unwahrscheinlichen Fall, dass das Produkt beschädigt wird, vorsichtig mit den Bruchstücken um.

Entsorgen Sie das Produkt gemäß der regional geltenden Vorschriften zur Müllentsorgung.

● Entfernen Sie nicht den Aufkleber, der sich mittig auf der Unterseite des Körpers befindet.

Gebrauch des Produkts

Entnehmen des inneren Stopfens.

Drücken Sie die Lösehebel mit den Fingern zusammen und schieben Sie sie in Richtung der Mitte, wobei Sie sie anheben. (Siehe Abb. 2)

Aufsetzen des Tropfers (wenn Sie Kaffee aufgießen möchten).

Entfernen Sie den inneren Stopfen und setzen Sie den Tropfer auf. Vergewissern Sie sich vor dem Gebrauch immer, dass der Tropfer stabil sitzt. (Siehe Abb. 3)

Kaffee aufgießen oder ein anderes Getränk in das Produkt einfüllen.

Befüllen Sie das Produkt nicht über den in der Abbildung gezeigten Punkt hinaus. Wenn das Produkt überfüllt ist, lässt sich der Deckel möglicherweise nicht schließen und der Inhalt läuft über, oder das Schließen des Deckels kann dazu führen, dass Druck entsteht, wodurch der Inhalt aus dem Produkt spritzt. Dies kann zu Verbrennungen führen. Zudem kann es zu Schäden am Produkt kommen. (Siehe Abb. 4)

Einsetzen des inneren Stopfens.

Drücken Sie die Lösehebel mit den Fingern zusammen und schieben Sie sie in Richtung der Mitte. Setzen Sie dabei den inneren Stopfen fest ein und richten Sie den Hebel am Griff aus. Getränke können aus dem Produkt auslaufen, wenn der innere Stopfen nicht richtig eingesetzt ist. (Siehe Abb. 5)

Vor dem Gießen. Zum Ausgießen drücken Sie zuerst den Hebel und kippen anschließend den Körper.

Wenn der Hebel erst nach dem Kippen gedrückt wird, kann der aufgestaute Druck dazu führen, dass der Inhalt aus dem Produkt spritzt. (Siehe Abb. 6)

Nach dem Gießen. Bringen Sie den Körper nach dem Gießen immer in eine waagerechte Position, bevor Sie den Hebel wieder loslassen. Wenn der Hebel bei angekipptem Körper losgelassen wird, kann Flüssigkeit im inneren Stopfen zurückbleiben, was zu Verbrennungen führen kann. (Siehe Abb. 7)

Einstellen der Durchflussmenge

Die Durchflussmenge beim Gießen kann durch Einsetzen der Durchflussregler A, B oder C eingestellt werden. Durchflussregler B liefert die Standarddurchflussmenge und ist standardmäßig eingesetzt. Wird Durchflussregler B durch Durchflussregler A ersetzt, wird die Durchflussmenge erhöht. Durchflussregler C bewirkt eine geringere Durchflussmenge. Die Durchflussregler A und C sind im Lieferumfang enthalten, bewahren Sie sie an einem sicheren Ort auf. (Siehe Abb. 8)

■ Auswechseln des Durchflussreglers

Entfernen Sie den Deckel vom inneren Stopfen.

Methode 1

Drücken Sie die Lösehebel mit den Fingern zusammen und schieben Sie sie in Richtung der Mitte. Heben Sie den Deckel an und drücken Sie dabei mit den Fingern auf die beiden mit runden Einkerbungen markierten Punkte auf der Innenseite des inneren Stopfenkörpers.

Methode 2

Halten Sie den inneren Stopfen mit einer Hand auf das Unterteil gedrückt, während Sie mit der anderen Hand die Lösehebel in die Mitte schieben.

Drücken Sie dann den Hebel nach unten.

(Siehe Abb. 9)

Entnehmen Sie den vorhandenen Durchflussregler und setzen Sie den Durchflussregler ein, den Sie verwenden möchten.

Drücken Sie den vorstehenden Teil des Durchflussreglers zusammen, während Sie die Wellenabdeckung nach unten drücken, und entnehmen Sie den Durchflussregler. Drücken Sie die Wellenabdeckung weiterhin nach unten und setzen Sie den gewünschten Durchflussregler ein. Stellen Sie sicher, dass der eingesetzte Durchflussregler an der Durchflussreglerdichtung angebracht ist. Richten Sie zunächst die Auslassseite des Durchflussreglers so aus, dass sie an der oberen Fläche des Auslasses des inneren Stopfenkörpers anliegt. (Siehe Abb. 10)

Setzen Sie den Deckel auf den inneren Stopfen.

Drücken Sie die Lösehebel mit den Fingern zusammen und schieben Sie sie in Richtung der Mitte. Setzen Sie den Deckel ein und drücken Sie dabei mit den Fingern auf die beiden mit runden Einkerbungen markierten Punkte auf der Innenseite des inneren Stopfenkörpers.

(Siehe Abb. 11)

Produktpflege

● Das Einweichen oder die Verwendung von Spülmaschinen und Spültrocknern ist nicht zulässig.

● Bitte verwenden Sie keine Chlorbleiche, Verdünnern, Reinigungsmittel, Metallschrubber oder chemischen Tücher mit diesem Produkt.

● Nach dem Waschen bitte sofort mit einem trockenen Tuch abtrocknen. Wenn Sie das Produkt längere Zeit nicht benutzen, achten Sie darauf, es vollständig zu reinigen, zu trocknen und an einem trockenen Ort aufzubewahren.

■ Körper (außen)

Weichen Sie ein weiches Tuch in heißem Wasser mit Spülmittel ein, wringen Sie es gut aus und wischen Sie eventuelle Flecken ab und trocknen Sie es dann mit einem trockenen, weichen Tuch ab. Bitte keine Stahlbürste etc. verwenden.

■ Körper (innen)

Mit einer langstieligen, in heißem Wasser mit Geschirrspülmittel getränkten Schwammbürste abwaschen und gründlich trocknen. "Wenn der Hauptkörper verschmutzt ist, verwenden Sie bitte ein Reinigungsmittel für Edelstahlflaschen.

● Bei roten, rostähnlichen Beulen Diese Rückstände werden durch Mineralstoffe im Wasser, wie z. B. Eisen, gebildet. Füllen Sie das Produkt mit einer warmen Essigwasserlösung (10 % Essig) und lassen Sie diese ca. 30 Minuten einwirken. Reinigen Sie das Innere anschließend gründlich mit einer weichen Schwammbürste. Spülen Sie mit reichlich sauberem Wasser nach, bis kein Essig mehr vorhanden ist.

● Bei rauen Ablagerungen

Diese Ablagerungen werden durch Mineralstoffe im Wasser, wie z. B. Kalzium, gebildet. Füllen Sie das Produkt mit einer warmen Zitronensäurelösung (10 % Zitronensäure) und lassen Sie diese ca. 3 Stunden bei abgenommenem Deckel einwirken. Reinigen Sie das Innere anschließend gründlich mit einem weichen Schwamm. Spülen Sie mit reichlich sauberem Wasser nach, bis keine Zitronensäure mehr vorhanden ist.

■ Innerer Stopfen

Entfernen Sie die Dichtung des inneren Stopfens und waschen Sie sie mit einem weichen, in heißem Wasser mit Geschirrspülmittel getränkten Schwamm. Spülen Sie anschließend mit reichlich klarem Wasser nach, damit kein Reinigungsmittel zurückbleibt. Setzen Sie die Dichtung des inneren Stopfens nach dem Waschen immer wieder ein. Sollten Sie Bedenken wegen Verschmutzungen im Inneren des inneren Stopfens haben, können Sie diesen auseinandernehmen und die Einzelteile nach derselben Methode reinigen. Informationen zur Montage und Demontage des inneren Stopfens finden Sie unter „Montage/Demontage des inneren Stopfens“.

Montage/Demontage des inneren Stopfens

Entfernen Sie den Deckel, den Hebel und den Durchflussregler vom inneren Stopfen.

Entfernen Sie den Deckel und den Durchflussregler vom inneren Stopfen, wie unter „Auswechseln des Durchflussreglers“ beschrieben. Entfernen Sie den Hebel, indem Sie ihn parallel zum Deckel ziehen. (Siehe Abb. 12)

Entfernen Sie die Wellenabdeckung.

Während Sie mit dem Finger von hinten auf die Wellendichtung drücken, drücken Sie mit der anderen Hand die Wellenabdeckung nach unten und drehen sie gegen den Uhrzeigersinn. Wenn sich die Wellenabdeckung nicht mehr weiter drehen lässt, ziehen Sie sie nach oben, um sie abzunehmen. (Siehe Abb. 13)

Waschen Sie die Einzelteile.

Durch das Abnehmen der Wellenabdeckung können die oben genannten Teile entfernt werden. Waschen Sie die Teile mit einem weichen, in heißem Wasser mit Geschirrspülmittel getränkten Schwamm. Spülen Sie anschließend mit reichlich klarem Wasser nach, damit kein Reinigungsmittel zurückbleibt. (Siehe Abb. 14)

Setzen Sie die Teile wieder ein.

Bauen Sie die Teile wieder in ihre ursprüngliche Position ein und beziehen Sie sich dabei auf die Querschnittsabbildung. (Siehe Abb. 15)

Montieren Sie die Wellenabdeckung.

Führen Sie beide Federn durch die Welle. Während Sie die Wellendichtung von der Rückseite mit dem Finger andrücken, richten Sie mit der anderen Hand die Wellenabdeckung an der Nut der Welle aus, drücken dann die Wellenabdeckung von oben nach unten und drehen sie im Uhrzeigersinn. Wenn sich die Wellenabdeckung nicht mehr weiter drehen lässt, ziehen Sie sie nach oben, um sie in Position zu bringen. (Siehe Abb. 16)

Setzen Sie den Durchflussregler, den Hebel und den Deckel ein.

Setzen Sie den Deckel und den Durchflussregler in den inneren Stopfen ein, wie unter „Einstellen der Durchflussmenge“ beschrieben. Führen Sie den Hebel durch den Steg des Deckels, bevor Sie ihn in das Scharnier schieben. (Siehe Abb. 17)

Para garantizar un uso correcto, consulte los diagramas de las páginas 10 y 11 y asegúrese de leer detenidamente este manual de instrucciones. Una vez leído, guárdelo en un lugar seguro para consultarlo en un futuro.

Guía de materiales

Véase la Fig. 1

- ①-1 Tapa: polipropileno, resina ABS (resistente al calor hasta 100 °C)
 - ①-2 Palanca: resina ABS (resistente al calor hasta 100 °C)
 - ①-3 Palancas separadoras: poliacetal (resistente al calor hasta 100 °C)
 - ② Reguladores de flujo A, B y C: polipropileno (resistente al calor hasta 120 °C)
 - ③ Junta del regulador de flujo: goma de silicona (resistente al calor hasta 180 °C)
 - ④ Tapa del eje: poliacetal (resistente al calor hasta 100 °C)
 - ⑤ Resorte pequeño: acero inoxidable
 - ⑥ Resorte grande: acero inoxidable
 - ⑦ Cuerpo del tapón interno: polipropileno (resistente al calor hasta 120 °C)
 - ⑧ Junta de la válvula: goma de silicona (resistente al calor hasta 180 °C)
 - ⑨ Válvula: polipropileno (resistente al calor hasta 120 °C)
 - ⑩ Eje: polipropileno (resistente al calor hasta 120 °C)
 - ⑪ Junta del eje: goma de silicona (resistente al calor hasta 180 °C)
 - ⑫ Junta del tapón interior: goma de silicona (resistente al calor hasta 180 °C)
 - ⑬ Asa: polipropileno (resistente al calor hasta 120 °C)
 - ⑭ Cuerpo (botella interior, cuerpo): acero inoxidable (exterior: revestimiento de resina acrílica)
 - ⑮ Tapón interior
- HECHO EN CHINA

Precauciones de uso

- ⚠ No lo exponga a las llamas. No lo use con hornos microondas ni dispositivos para cocina de inducción.
- ⚠ La supervisión de un adulto es necesaria si el producto lo está usando un niño. Asegúrese de explicarle todas las precauciones antes de que lo use. Tenga mucho cuidado al usarlo cerca de niños. Guárdelo fuera del alcance de los niños.

- No use el producto si está rajado, roto o muy arañado ya que puede romperse inesperadamente.
- Úselo solo para mantener la bebida caliente/fría.
- No lo use cerca del fuego.
- No aplique vibración o impacto de choque alguno al recipiente.
- No lo guarde en el congelador.

- No permita que la tetera caliente entre en contacto con la boca del recipiente.
- Cuando cierre la tapa, asegúrese de cerrarla por completo. Asegúrese también de que todas las piezas queden bien ajustadas y cerradas.
- Tras llenarlo de bebida caliente, presione la palanca para liberar la presión. No dirija el producto hacia nadie al hacer esto, ya que la presión en el interior puede causar la pulverización del contenido.
- Al quitar el tapón interior con líquido dentro del producto, empuje la palanca una vez para liberar la presión interna y luego retire el tapón interior.
- Tenga cuidado con los niños y sus travesuras.
- No incline este producto antes de hacer presión sobre la palanca, ya que la presión en su interior puede provocar la pulverización del contenido.
- No coloque este producto en una superficie inestable. El producto podría volcarse y derramarse el contenido, lo que podría provocar quemaduras o manchas en los objetos cercanos.
- Al transportar el producto, sosténgalo por el cuerpo o el asa. No haga presión sobre la palanca mientras tanto.
- No intente reparar, desmontar o modificar el producto.
- No deje bebidas en este producto durante mucho tiempo. Puede producirse corrosión o deformación.
- También puede darse decoloración o manchas si se dejan bebidas como té en este producto durante mucho tiempo.
- Rompa cubitos de hielo en trozos más pequeños antes de meterlos en el producto. Pueden darse arañazos o fugas si se colocan enteros.
- No meta en su interior lo siguiente.

- Hielo seco y bebidas con gas.

Estos artículos pueden hacer que se acumule presión en el interior del producto, lo que podría impedir que se abra el tapón interior; hacer que parte del producto se rompa o se haga añicos o que el líquido salga disparado del producto. En última instancia, esto puede llevar a una lesión o a que se ensucie el área circundante.

- Leche, productos lácteos, zumos de fruta y otros artículos perecederos.

El gas liberado por la descomposición de los restos dejados dentro del producto durante mucho tiempo puede hacer que se acumule presión en el interior del producto, lo que podría impedir que se abra el tapón interior; hacer que parte del producto se rompa o se haga añicos o que el líquido salga disparado del producto. En última instancia, esto puede llevar a una lesión o a que se ensucie el área circundante.

- Sopa / sopa miso con contenido salino. La sal puede causar oxidación, putrefacción o deterioro.

- Hojas de té/pulpa fresca. Pueden obstruir aberturas y causar quemaduras por fugas, así como ensuciar el área circundante.

- Tenga cuidado de no volcar este producto al colocar el cono de goteo encima.

- Los conos de goteo que no sean de HARIO podrían no encajar bien en este producto. No intente forzarlos en su sitio.
 - En el improbable caso de que el producto se dañe, tenga cuidado con las piezas que se hayan roto.
- Siga las reglas locales sobre la eliminación de basura al desechar este producto.
- No quite la pegatina en el centro de la parte inferior del cuerpo.

Uso de este producto

Retire el tapón interior.

Pellizque las palancas separadoras con los dedos y deslícelas hacia el centro, levantándolas. (Véase la Fig. 2)

Monte el cono de goteo (al preparar café por vertido).

Retire el tapón interior y monte el cono de goteo.

Asegúrese siempre de que el cono de goteo quede estable antes del uso. (Véase la Fig. 3)

Prepare el café por vertido o vierta una bebida en el producto. No llene por encima del punto indicado en el diagrama. Si el producto se llena en exceso, es posible que la tapa no se cierre y que el contenido se desborde, o que al cerrar la tapa se produzca una presión que haga que el contenido salga disparado del producto. Así, podrían darse quemaduras. Además, existe el riesgo de que se den daños al producto. (Véase la Fig. 4)

Inserte el tapón interior.

Pellizque las palancas separadoras con los dedos y deslícelas hacia el centro. Coloque el tapón interior firmemente en su sitio mientras tanto, alineando la palanca con el asa. El líquido podría gotear del producto si no se coloca bien el tapón interior. (Véase la Fig. 5)

Empiece a verter.

Para verter, presione la palanca y luego incline el cuerpo.

Si se presiona la palanca después de inclinarlo, la presión puede hacer que el contenido salga disparado del producto. (Véase la Fig. 6)

Termine de verter.

Tras verter, vuelva siempre a poner el cuerpo en posición horizontal antes de soltar la palanca. Si se suelta la palanca con el cuerpo inclinado, el líquido puede quedar retenido en el tapón interior, lo que podría provocar quemaduras. (Véase la Fig. 7)

Ajuste de la tasa de flujo

La velocidad de flujo al verter puede ajustarse cambiando el regulador de flujo al A, B o C. El regulador de flujo B supone la velocidad de flujo estándar y es el que está insertado por defecto. Si sustituye el regulador de flujo B por el regulador de flujo A, aumentará la velocidad de flujo, mientras que el regulador de flujo C la disminuirá. Los reguladores de flujo A y C se incluyen en el paquete; guárdelos en un lugar seguro. (Véase la Fig. 8)

■ Sustitución del regulador de flujo

Retire la tapa del tapón interior.

Método 1

Pellizque las palancas separadoras con los dedos y deslícelas hacia el centro. Levante la tapa mientras presiona con los dedos los dos puntos marcados con hendiduras redondas dentro del cuerpo del tapón interior.

Método 2

Mantenga presionado por la base el tapón interior con una mano mientras, con la otra, desliza las palancas separadoras hacia el centro. Luego, baje la palanca.

(Véase la Fig. 9)

Retire el regulador de flujo e inserte el que quiera usar.

Pellizque la sección saliente del regulador de flujo mientras empuja la tapa del eje hacia abajo y retire el regulador de flujo. Siga presionando la tapa del eje hacia abajo e inserte el regulador de flujo que quiera usar. Asegúrese de que el regulador de flujo insertado se ajusta a la junta del regulador de flujo. En primer lugar, coloque el lado de salida del regulador de flujo de manera que se acople a la superficie superior de la salida del cuerpo del tapón interior.

(Véase la Fig. 10)

Inserte la tapa del tapón interior.

Pellizque las palancas separadoras con los dedos y deslícelas hacia el centro. Inserte la tapa mientras presiona con los dedos los dos puntos marcados con hendiduras redondas dentro del cuerpo del tapón interior.

(Véase la Fig. 11)

Cuidado del producto

- No se permite el uso de lavavajillas o secadoras de platos, ni dejarlo a remojo.
- No utilice blanqueador con cloro, disolventes, limpiadores, cepillos de fregar metálicos ni paños con sustancias químicas en este producto.
- Tras lavarlo, séquelo con un paño seco de inmediato. Cuando no vaya a utilizarlo durante mucho tiempo, asegúrese de limpiarlo completamente, secarlo y guardarlo en un sitio poco húmedo.

■ Cuerpo (exterior)

Remoje un paño suave en agua caliente con lavavajillas, escúrralo con firmeza y limpie posibles manchas; a continuación, séquelo con un paño seco y suave. No use un cepillo de acero, etc.

■ Cuerpo (interior)

Lávalo con un cepillo de esponja y mango largo empapada en agua caliente con lavavajillas; a continuación, séquelo bien.

*Cuando el cuerpo principal esté sucio, use un limpiador de botellas de acero inoxidable.

● Si se dan protuberancias rojas que parecen óxido. Es un residuo formado por minerales, como el hierro en el agua. Llene el producto con una solución tibia de vinagre al 10 % y déjelo durante unos 30 minutos; a continuación, lave bien el interior con un cepillo de esponja suave, etc. Enjuague bien con agua limpia hasta que no quede vinagre.

● Si se produce un residuo rugoso.

Es un residuo formado por minerales como el calcio en el agua. Llene el producto con una solución tibia de ácido cítrico al 10 % y déjelo durante unas 3 horas con la tapa retirada; a continuación, lave bien el interior con un cepillo de esponja suave, etc. Enjuague bien con agua limpia hasta que no queden restos de ácido cítrico.

■ Tapón interior

Retire la junta del tapón interior y lávela con una esponja suave empapada en agua caliente con lavavajillas. A continuación, enjuague bien con agua limpia hasta que no quede detergente. Asegúrese de volver a colocar la junta del tapón interior tras lavarla. Si le preocupa la suciedad de dentro del tapón interior, puede desmontarlo y limpiar cada parte con el mismo método. Consulte “Montaje/desmontaje del tapón interior” para saber cómo montar y desmontar el tapón interior.

Montaje/desmontaje del tapón interior

Retire la tapa, la palanca y el regulador de flujo del tapón interior. Retire la tapa y el regulador de flujo del tapón interior, tal y como se describe en “Sustitución del regulador de flujo”. Retire la palanca tirando de ella en paralelo a la tapa. (Véase la Fig. 12)

Retire la tapa del eje.

Mientras presiona la junta del eje desde la parte trasera con un dedo, empuje la tapa del eje hacia abajo con la otra mano y gírela en sentido contrario a las agujas del reloj. Cuando la tapa del eje ya no gire más, tire de ella hacia arriba para retirarla. (Véase la Fig. 13)

Lave cada pieza.

Retire la tapa del eje para quitar las piezas anteriores. Lave cada pieza con una esponja suave empapada en agua caliente con lavavajillas. A continuación, enjuague bien con agua limpia hasta que no quede detergente. (Véase la Fig. 14)

Inserte las piezas.

Devuelva cada pieza a su posición original consultando el diagrama trasversal. (Véase la Fig. 15)

Coloque la tapa del eje.

Pase ambos resortes por el eje. Mientras presiona la junta del eje desde la parte trasera con un dedo, utilice la otra mano para alinear la tapa del eje con la ranura del eje; a continuación, empuje la tapa del eje hacia abajo desde arriba y gírela en el sentido de las agujas del reloj. Cuando la tapa del eje ya no gire más, tire de ella hacia arriba para colocarla en su sitio. (Véase la Fig. 16)

Inserte el regulador de flujo, la palanca y la tapa.

Inserte la tapa y el regulador de flujo en el tapón interior, tal y como se describe en “Ajuste del regulador de flujo”. Pase la palanca por el pilar de la tapa antes de empujarla hacia la bisagra. (Véase la Fig. 17)

Afin de garantir une utilisation correcte, consulter les schémas des pages 10 et 11 et lire attentivement ce manuel d' instructions. Après l' avoir lu, ranger le manuel en lieu sûr pour toute référence ultérieure.

Guide des matériaux

Consultez la Fig. 1

- ①-1 Couvercle: polypropylène, résine ABS (thermorésistance jusqu' à 100 °C)
 - ①-2 Levier: résine ABS (thermorésistance jusqu' à 100 °C)
 - ①-3 Leviers de retrait: polyacétal (thermorésistance jusqu' à 100 °C)
 - ② Régulateurs d' écoulement A, B et C: polypropylène (thermorésistance jusqu' à 120 °C)
 - ③ Joint de régulateur d' écoulement: caoutchouc de silicone (thermorésistance jusqu' à 180 °C)
 - ④ Protection d' arbre: polyacétal (thermorésistance jusqu' à 100 °C)
 - ⑤ Petit ressort: acier inoxydable
 - ⑥ Grand ressort: acier inoxydable
 - ⑦ Corps de butée interne: polypropylène (thermorésistance jusqu' à 120 °C)
 - ⑧ Joint de vanne: caoutchouc de silicone (thermorésistance jusqu' à 180 °C)
 - ⑨ Vanne: polypropylène (thermorésistance jusqu' à 120 °C)
 - ⑩ Arbre: polypropylène (thermorésistance jusqu' à 120 °C)
 - ⑪ Joint d' arbre: caoutchouc de silicone (thermorésistance jusqu' à 180 °C)
 - ⑫ Joint de butée interne: caoutchouc de silicone (thermorésistance jusqu' à 180 °C)
 - 13 Poignée: polypropylène (thermorésistance jusqu' à 120 °C)
 - 14 Corps (bouteille interne, corps): acier inoxydable (extérieur: revêtement de résine acrylique)
 - 15 Butée interne
- FABRIQUÉ EN CHINE

Précautions d' utilisation

⚠ Ne pas exposer aux flammes nues. Ne pas utiliser avec un four à microondes ou des appareils de cuisson par induction.

⚠ Les enfants doivent uniquement utiliser ce produit sous la surveillance d' un adulte. Veiller à expliquer toutes les précautions avant usage. Faire preuve d' une grande vigilance lors d' une utilisation à proximité d' enfants. Ranger hors de portée des enfants.

- Ne pas utiliser le produit s' il est fissuré, cassé, ou très rayé car il pourrait se casser de manière inattendue.
- Ne pas utiliser à d' autres fins que de maintenir des boissons au chaud/frais.
- Ne pas utiliser près d' un feu.
- Ne pas soumettre le contenant à des vibrations ou des chocs.
- Ne pas mettre au congélateur.

- Ne pas mettre la bouilloire chaude en contact avec le goulot du contenant.
 - Lorsque vous fermez le couvercle, veillez à le fermer complètement. S' assurer également que chaque pièce est à sa place et que tout est bien fermé.
 - Après avoir rempli avec une boisson chaude, appuyer sur le levier pour évacuer la pression. Ne pas diriger le produit vers qui que ce soit lors de cette opération, car la pression interne peut faire gicler le contenu.
 - Lorsque vous retirez la butée interne alors que le produit contient du liquide, appuyez une fois sur le levier pour évacuer la pression interne, puis retirez la butée.
 - Surveiller attentivement les tout-petits et les enfants.
 - Ne pas incliner ce produit avant d' appuyer sur le levier, car la pression interne peut faire gicler le contenu.
 - Ne pas poser ce produit sur une surface instable. Le produit risquerait de basculer et son contenu de se renverser, ce qui pourrait provoquer des brûlures ou des taches.
 - S' assurer de tenir le produit au niveau du corps ou de la poignée pour le déplacer. Ne pas appuyer sur le levier lorsque vous déplacez le produit.
 - Ne jamais tenter de réparer, de démonter ou de modifier ce produit.
 - Ne pas laisser de liquide dans ce produit pendant une période prolongée. Il risquerait de se corroder ou de se déformer.
 - Le produit risque de se décolorer ou d' être altéré si vous y laissez des boissons telles que du thé pendant une période prolongée.
 - Avant de mettre des glaçons dans ce produit, veiller à les casser en petits morceaux. De gros glaçons risquent de rayer le produit ou de provoquer une fuite.
 - Ne pas mettre les denrées suivantes dans le produit.
 - Glace sèche et boissons gazeusesElles risqueraient de provoquer une accumulation de pression dans le produit et ainsi d' empêcher l' ouverture de la butée interne, de casser ou d' endommager le produit ou d' entraîner des projections de liquide. Cela pourrait causer des blessures ou salir la zone environnante.
 - Lait et produits laitiers, jus de fruit et autres denrées périssables
- Le gaz engendré par la détérioration des denrées laissées dans le produit pendant une période prolongée risquerait de provoquer une accumulation de pression dans le produit et ainsi d' empêcher l' ouverture de la butée interne, de casser ou d' endommager le produit ou d' entraîner des projections de liquide. Cela pourrait causer des blessures ou salir la zone environnante.
- Soupe miso/soupe contenant du sel Le sel risque de provoquer de la rouille, une putréfaction ou une détérioration.
 - Feuilles de thé/pulpe Elles risqueraient d' obstruer les ouvertures et de provoquer des brûlures ou de salir la zone environnante en cas de fuite.

- Lors de l' installation du porte-filtre sur le produit, veiller à ne pas faire basculer ce dernier.
 - Les porte-filtres d' une marque autre que HARIO risquent de ne pas s' adapter correctement au produit. Ne pas forcer pour les insérer.
 - Dans l' éventualité peu probable où ce produit serait endommagé, manipuler avec prudence tout élément cassé.
- Suivre la réglementation locale concernant le traitement des déchets lors de la mise au rebut de ce produit.
- Ne pas retirer l' autocollant central sous le corps.

Utilisation du produit

Retirer la butée interne.

Pincer les leviers de retrait avec les doigts et les faire glisser vers le centre tout en soulevant. (Consulter la Fig. 2)

Installer le porte-filtre (pour préparer du café filtre à la main).

Retirer la butée interne et installer le porte-filtre.

Toujours vérifier que le porte-filtre est stable avant l' utilisation. (Consulter la Fig. 3)

Infuser le café filtre à la main ou verser une boisson dans le produit.

Ne pas remplir au-delà du repère indiqué sur le schéma. Si le produit est trop rempli, le couvercle risque de rester ouvert et le contenu de déborder ou la fermeture du couvercle peut provoquer une pression susceptible de faire gicler le contenu. Cela pourrait causer des brûlures. En outre, le produit risquerait d' être endommagé. (Consulter la Fig. 4)

Insérer la butée interne.

Pincer les leviers de retrait avec les doigts et les faire glisser vers le centre. Simultanément, insérer fermement la butée interne en alignant le levier et la poignée. Si la butée interne est mal installée, du liquide risque de fuir du produit. (Consulter la Fig. 5)

Commencer à verser.

Pour verser, appuyer sur le levier avant d' incliner le corps.

Si vous appuyez sur le levier après avoir incliné le produit, la pression risque de faire gicler le contenu. (Consulter la Fig. 6)

Finir de verser.

Lorsque vous avez fini de verser, replacez toujours le corps à l' horizontale avant de relâcher le levier. Si vous relâchez le levier alors que le corps est incliné, la butée interne risque de retenir du liquide et ainsi de provoquer des brûlures. (Consulter la Fig. 7)

Réglage du débit

Installer le régulateur d'écoulement A, B ou C permet de modifier le débit à appliquer lorsque vous versez. Le régulateur d'écoulement B, inséré par défaut, fournit un débit standard. Si vous choisissez le régulateur d'écoulement A à la place du B, le débit augmente. Quant au régulateur d'écoulement C, il réduit le débit. Les régulateurs d'écoulement A et C sont inclus dans l'emballage. S'assurer de les ranger en lieu sûr.

(Consulter la Fig. 8)

■ Changement de régulateur d'écoulement

Retirer le couvercle de la butée interne.

Méthode 1

Pincer les leviers de retrait avec les doigts et les faire glisser vers le centre. Soulever le couvercle tout en appuyant avec les doigts sur les deux repères indiqués par des cavités circulaires à l'intérieur du corps de la butée interne.

Méthode 2

Appuyer et maintenir la butée interne sur la base avec une main tout en faisant glisser les leviers de retrait vers le centre avec l'autre. Puis, baisser le levier.

(Consulter la Fig. 9)

Retirer le régulateur d'écoulement et insérer le régulateur de votre choix.

Pincer la partie saillante du régulateur d'écoulement tout en appuyant sur la protection d'arbre et retirer le régulateur. Maintenir la protection d'arbre enfoncée et insérer le régulateur d'écoulement de votre choix. S'assurer que le régulateur d'écoulement à insérer s'adapte au joint du régulateur d'écoulement. Tout d'abord, installer le côté sortie du régulateur d'écoulement de manière à le fixer à la surface supérieure de la sortie du corps de la butée interne.

(Consulter la Fig. 10)

Insérer le couvercle dans la butée interne.

Pincer les leviers de retrait avec les doigts et les faire glisser vers le centre. Insérer le couvercle tout en appuyant avec les doigts sur les deux repères indiqués par des cavités circulaires à l'intérieur du corps de la butée interne.

(Consulter la Fig. 11)

Entretien du produit

● Ne pas faire tremper le produit ni le passer au lave-vaisselle.

● Ne pas utiliser de blanchiment chloré, de diluants, de nettoyants, de brosses à récurer en métal ou de chiffons chimiques sur ce produit.

● Après avoir nettoyé le produit, l'essuyer immédiatement avec un chiffon sec. Si le produit ne doit pas être utilisé pendant une longue période, le nettoyer entièrement, le sécher et le ranger dans une zone peu humide.

■ Corps (extérieur)

Tremper un chiffon doux dans un mélange d'eau chaude et de liquide vaisselle, bien l'essorer, puis essuyer les taches éventuelles et sécher avec un chiffon sec et doux. Ne pas utiliser de brosse à récurer en acier, etc.

■ Corps (intérieur)

Nettoyer à l'aide d'une éponge à long manche imprégnée d'eau chaude et de liquide vaisselle, puis sécher soigneusement.

*Lorsque le corps principal est sale, utiliser un produit de nettoyage pour bouteille en acier inoxydable.

● En cas d'apparition de bosses rouges semblables à de la rouille Ces résidus résultent de minéraux, tels que le fer, contenus dans l'eau. Remplir le produit d'une solution vinaigrée à 10 %, chaude, et laisser reposer environ 30 minutes. Puis, laver soigneusement l'intérieur avec une éponge douce, etc. Rincer abondamment à l'eau claire pour ôter tout le vinaigre.

● En cas d'apparition de résidus difficiles à enlever Ces résidus résultent des minéraux, tels que le calcium, contenus dans l'eau. Remplir le produit d'une solution d'acide citrique à 10 %, chaude, et laisser reposer environ 3 heures sans le couvercle. Puis, laver soigneusement l'intérieur avec une éponge douce, etc. Rincer abondamment à l'eau claire pour ôter tout l'acide citrique.

■ Butée interne

Retirer le joint de la butée interne et laver avec une éponge douce imbibée d'eau chaude et de liquide vaisselle. Puis, rincer abondamment à l'eau claire pour ôter tout le liquide vaisselle. Toujours réinstaller le joint de la butée interne après avoir nettoyé. Si vous craignez que l'intérieur de la butée interne soit sale, vous pouvez la désassembler et nettoyer chaque pièce avec cette méthode. Consulter « Assemblage/désassemblage de la butée interne » pour savoir comment assembler et désassembler la butée interne.

Assemblage/désassemblage de la butée interne

Retirer le couvercle, le levier et le régulateur d'écoulement de la butée interne.

Retirer le couvercle et le régulateur d'écoulement de la butée interne comme indiqué dans la section « Changement de régulateur d'écoulement ». Pour retirer le levier, tirer dessus en le maintenant parallèle au couvercle. (Consulter la Fig. 12)

Retirer la protection d'arbre.

Tout en appuyant du doigt sur le joint d'arbre depuis l'arrière, enfoncer la protection d'arbre de l'autre main et la tourner dans le sens antihoraire. Lorsque la protection d'arbre cesse de tourner, la tirer vers le haut pour l'ôter. (Consulter la Fig. 13)

Nettoyer chaque pièce.

Retirer la protection d'arbre permet de retirer les pièces ci-dessus.

Nettoyer chaque pièce avec une éponge douce imbibée d'eau chaude et de liquide vaisselle. Puis, rincer abondamment à l'eau claire pour ôter tout le liquide vaisselle. (Consulter la Fig. 14)

Insérer les pièces.

Replacer chaque pièce dans sa position d'origine à l'aide du schéma transversal. (Consulter la Fig. 15)

Installer la protection d'arbre.

Faire passer les deux ressorts dans l'arbre. Tout en appuyant du doigt sur le joint d'arbre depuis l'arrière, aligner la protection d'arbre et la rainure de l'arbre avec l'autre main, puis enfoncer la protection d'arbre par le haut et la tourner dans le sens horaire. Lorsque la protection d'arbre cesse de tourner, la tirer vers le haut pour la fixer en position. (Consulter la Fig. 16)

Insérer le régulateur d'écoulement, le levier et le couvercle.

Insérer le couvercle et le régulateur d'écoulement dans la butée interne comme indiqué dans la section « Réglage du débit ». Passer le levier dans le montant du couvercle avant de l'enfoncer dans la charnière.

(Consulter la Fig. 17)

Per garantire un utilizzo corretto, fare riferimento agli schemi alle pagine 10 e 11 e accertarsi di leggere con cura il presente manuale di istruzioni. Dopo la lettura, conservare questo manuale in un luogo sicuro per possibili consultazioni future.

Guida ai materiali

Fare riferimento alla Fig. 1

- ①-1 Coperchio: polipropilene, resina ABS (termoresistente fino a 100°C)
 - ①-2 Leva: resina ABS (termoresistente fino a 100°C)
 - ①-3 Leve di rimozione: poliacetale (termoresistente fino a 100°C)
 - ② Regolatori di flusso A, B e C: polipropilene (termoresistente fino a 120°C)
 - ③ Guarnizione dei regolatori di flusso: gomma al silicone (termoresistente fino a 180°C)
 - ④ Coperchio dell' asta: poliacetale (termoresistente fino a 100°C)
 - ⑤ Molla piccola: acciaio inossidabile
 - ⑥ Molla grande: acciaio inossidabile
 - ⑦ Corpo del fermo interno: polipropilene (termoresistente fino a 120°C)
 - ⑧ Guarnizione della valvola: gomma al silicone (termoresistente fino a 180°C)
 - ⑨ Valvola: polipropilene (termoresistente fino a 120°C)
 - ⑩ Asta: polipropilene (termoresistente fino a 120°C)
 - ⑪ Guarnizione dell' asta: gomma al silicone (termoresistente fino a 180°C)
 - ⑫ Guarnizione del fermo interno: gomma al silicone (termoresistente fino a 180°C)
 - ⑬ Manico: polipropilene (termoresistente fino a 120°C)
 - ⑭ Corpo (bottiglia interna, corpo): acciaio inossidabile (esterno: rivestimento in resina acrilica)
 - ⑮ Fermo interno
- FABBRICATO IN CINA

Precauzioni per l' uso

⚠ **Non esporlo a fiamme libere. Non utilizzarlo con forni a microonde o con apparecchi di cottura a induzione.**

⚠ **È necessaria la supervisione di un adulto in caso di utilizzo del prodotto da parte di un bambino. Accertarsi di spiegare tutte le precauzioni prima dell' uso. Prestare estrema attenzione quando lo si utilizza nelle vicinanze di bambini. Conservare fuori dalla portata di bambini.**

- Non usare il prodotto se presenta crepe, fratture o graffi notevoli, poiché potrebbe rompersi in maniera imprevista.
- Non utilizzarlo per scopi diversi dal mantenimento di bevande al caldo/freddo.
- Non utilizzarlo vicino al fuoco.
- Non applicare vibrazioni o urti sul contenitore.
- Non inserire nel congelatore.

- Evitare che il bollitore caldo entri in contatto con la bocca del contenitore.
 - Nel chiudere il coperchio, verificare di chiuderlo completamente. Verificare anche che tutti i componenti sia posizionati correttamente e ben serrati.
 - Dopo averlo riempito con una bevanda calda, premere la leva per rilasciare la pressione. Nel farlo, verificare che il prodotto non sia indirizzato verso nessuna persona, in quanto la pressione al suo interno potrebbe causare l' irradiazione del contenuto.
 - Quando si rimuove il fermo interno con del liquido all' interno del prodotto, premere una volta la leva per rilasciare la pressione interna, quindi rimuovere il fermo interno.
 - Prestare attenzione a neonati e bambini in presenza del prodotto.
 - Non inclinare il prodotto prima di premere la leva, in quanto la pressione al suo interno potrebbe causare l' irradiazione del contenuto.
 - Non collocare questo prodotto su una superficie instabile. Ciò potrebbe far ribaltare il prodotto e far fuoriuscire il contenuto, causando ustioni o macchiando gli oggetti vicini.
 - Quando si trasporta il prodotto, tenerlo dal corpo o dal manico. Non premere la leva durante il trasporto.
 - Non cercare mai di riparare, smontare o modificare da soli questo prodotto.
 - Non lasciare le bevande all' interno del prodotto per un lasso di tempo prolungato. Ciò potrebbe causare corrosioni o deformazioni.
 - Se si lascia del tè o bevande simili all' interno del prodotto per un lasso di tempo prolungato si potrebbero verificare scolorimenti o macchie.
 - Se si desiderano inserire cubetti grandi di ghiaccio all' interno del prodotto, romperli prima in pezzi più piccoli. Se li si inserisce interi, potrebbero esserci graffi o perdite.
 - Non inserire i seguenti elementi.
 - Ghiaccio secco e bevande gassate
- Tali elementi potrebbero causare un accumulo di pressione all' interno del prodotto, il che potrebbe impedire l' apertura del fermo interno, causare la rottura o la frantumazione di una parte del prodotto o provocare la fuoriuscita di liquido dal prodotto. Ciò potrebbe quindi provocare lesioni o sporcare l' area circostante.
- Latte, latticini, succhi di frutta e altri articoli deperibili
- Il gas rilasciato dal deterioramento degli elementi lasciati all' interno del prodotto per lunghi periodi potrebbe causare un accumulo di pressione all' interno del prodotto, il che potrebbe impedire l' apertura del fermo interno, causare la rottura o la frantumazione di una parte del prodotto o provocare la fuoriuscita di liquido dal prodotto. Ciò potrebbe quindi provocare lesioni o sporcare l' area circostante.
- Zuppe di miso/zuppe con contenuto salino Il contenuto di sale può causare ruggine, putrefazione o deterioramento.
 - Foglie di tè/polpa Possono ostruire le aperture e causare ustioni da perdite o sporcare le aree circostanti.

- Prestare attenzione a non far ribaltare il prodotto quando vi si posiziona il gocciolatoio.
- È possibile che altri gocciolatoi, che non siano di HARIO, non si inseriscano bene sul prodotto. Non provare a collocarli in posizione con la forza.
- Nell' improbabile evenienza in cui il prodotto si danneggi, maneggiare con cura qualunque pezzo rotto. Attenersi alle normative locali in materia di raccolta dei rifiuti per lo smaltimento di questo prodotto.
- Non rimuovere l' adesivo al centro del fondo del corpo.

Utilizzo del prodotto

Rimuovere il fermo interno.

Premere le leve di rimozione con le dita e farle scorrere verso il centro sollevandole. (Fare riferimento alla Fig. 2)

Collocare il gocciolatoio (per l' infusione versare del caffè).

Rimuovere il fermo interno e collocare il gocciolatoio.

Verificare sempre che il gocciolatoio sia stabile prima dell' uso. (Fare riferimento alla Fig. 3)

Versare del caffè oppure una bevanda nel prodotto.

Non riempire oltre il punto indicato nello schema. Se si riempie eccessivamente il prodotto, il coperchio potrebbe non chiudersi e il contenuto potrebbe tracimare, oppure la chiusura del coperchio potrebbe generare una pressione che potrebbe far fuoriuscire il contenuto dal prodotto. Ciò potrebbe causare ustioni. Esiste anche il rischio di danneggiare il prodotto. (Fare riferimento alla Fig. 4)

Inserire il fermo interno.

Premere le leve di rimozione con le dita e farle scorrere verso il centro. Nel farlo, collocare il fermo interno saldamente in posizione, allineando la leva con il manico. Se non si posiziona saldamente il fermo interno, potrebbero esservi fuoriuscite di bevande dal prodotto. (Fare riferimento alla Fig. 5)

Iniziare a versare.

Per versare, premere la leva e, quindi, inclinare il corpo.

Se si preme la leva dopo aver inclinato il corpo, la pressione potrebbe causare l' irradiazione di contenuto dal prodotto. (Fare riferimento alla Fig. 6)

Terminare il versamento.

Dopo aver versato, riportare sempre il corpo in posizione orizzontale prima di rilasciare la leva. Rilasciare la leva con il corpo inclinato potrebbe causare la trattenuta di liquido nel fermo interno, il che potrebbe causare ustioni. (Fare riferimento alla Fig. 7)

Regolare la portata del flusso

È possibile regolare la portata del flusso durante il versamento utilizzando il regolatore di flusso A, B o C. Il regolatore di flusso B fornisce la portata standard ed è inserito come impostazione predefinita. Sostituendo il regolatore di flusso B con il regolatore di flusso A si aumenterà la portata, mentre il regolatore di flusso C diminuirà la portata. I regolatori di flusso A e C sono inclusi nella confezione, conservarli in un luogo sicuro. (Fare riferimento alla Fig. 8)

■ Cambiare il regolatore di flusso

Rimuovere il coperchio dal fermo interno.

Metodo 1

Premere le leve di rimozione con le dita e farle scorrere verso il centro. Sollevare il coperchio mentre si utilizzano le dita per premere i due punti contrassegnati dalle rientranze circolari all' interno del corpo del fermo interno.

Metodo 2

Tenendo premuto il fermo interno sulla base con una mano, utilizzare l' altra mano per far scorrere le leve di rimozione verso il centro. Dopodiché, abbassare la leva. (Fare riferimento alla Fig. 9)

Rimuovere il regolatore di flusso e inserire quello che si desidera utilizzare.

Premere la sezione sporgente del regolatore di flusso mentre si preme il coperchio dell' asta, quindi rimuovere il regolatore di flusso. Continuare a premere il coperchio dell' asta e inserire il regolatore di flusso che si desidera utilizzare. Verificare che tale regolatore di flusso venga inserito nella guarnizione del regolatore di flusso. Innanzitutto, posizionare il lato di uscita del regolatore di flusso in modo che si colleghi alla superficie superiore dell' uscita del corpo del fermo interno. (Fare riferimento alla Fig. 10)

Inserire il coperchio nel fermo interno.

Premere le leve di rimozione con le dita e farle scorrere verso il centro. Inserire il coperchio mentre si utilizzano le dita per premere i due punti contrassegnati dalle rientranze circolari all' interno del corpo del fermo interno. (Fare riferimento alla Fig. 11)

Cura del prodotto

- Non è consentito il lavaggio a immersione né l' uso di lavastoviglie e asciugatrici.
- Non utilizzare candeggina a base di cloro, diluenti, detergenti, spugnette in metallo o panni chimici su questo prodotto.
- Dopo il lavaggio, asciugare immediatamente con un panno asciutto. Se non lo si utilizza per un lasso di tempo prolungato, pulirlo completamente, asciugarlo e conservarlo in un' area con poca umidità.

■ Corpo (esterno)

Immergere un panno morbido in acqua calda con detersivo per piatti, strizzarlo bene e rimuovere qualunque macchia, quindi asciugare con un panno morbido e asciutto. Non utilizzare spazzoloni in acciaio, ecc.

■ Corpo (interno)

Lavare con una spazzola in spugna a manico lungo immersa in acqua calda con detersivo per piatti e asciugare con cura. *Se il corpo principale è sporco, utilizzare un detergente per acciaio inossidabile.

● Se appaiono protuberanze rosse somiglianti a ruggine Tale residuo viene formato da minerali come il ferro all' interno dell' acqua. Riempire il prodotto con una soluzione tiepida con il 10% di aceto e lasciarla per circa 30 minuti, quindi lavare accuratamente l' interno con una spazzola in spugna morbida, ecc. Sciacquare accuratamente con acqua pulita fino ad eliminare ogni traccia di aceto.

● Se è presente un residuo ruvido

Questo residuo viene formato da minerali come il calcio all' interno dell' acqua. Riempire il prodotto con una soluzione tiepida con il 10% di acido citrico e lasciarla per circa 3 ore con il coperchio rimosso, quindi lavare accuratamente l' interno con una spugna morbida, ecc. Sciacquare accuratamente con acqua pulita fino ad eliminare ogni traccia di acido citrico.

■ Fermo interno

Rimuovere la guarnizione del fermo interno e lavare con una spugna morbida immersa in acqua calda con detersivo per piatti. Quindi, sciacquare bene con acqua pulita in modo da eliminare ogni traccia di detersivo. Rimontare sempre la guarnizione del fermo interno dopo averlo lavato. Se si è preoccupati della sporcizia all' interno del fermo interno, è possibile smontarlo e pulire ciascun componente utilizzando lo stesso metodo. Fare riferimento a "Montaggio/smottaggio del fermo interno" per maggiori informazioni su come montare e smontare il fermo interno.

Montaggio/smottaggio del fermo interno

Rimuovere il coperchio, la leva e il regolatore di flusso dal fermo interno. Rimuovere il coperchio e il regolatore di flusso dal fermo interno come descritto in "Cambiare il regolatore di flusso". Rimuovere la leva tirandola in modo parallelo al coperchio. (Fare riferimento alla Fig. 12)

Rimuovere il coperchio dell' asta.

Premendo la guarnizione dell' asta dal retro con un dito, premere il coperchio dell' asta con l' altra mano e girarlo in senso antiorario. Quando il coperchio dell'asta smette di girare, tirarlo verso l' alto per rimuoverlo. (Fare riferimento alla Fig. 13)

Lavare ciascun componente.

La rimozione del coperchio dell' asta consente la rimozione dei componenti di cui sopra. Lavare ciascun componente con una spugna morbida immersa in acqua calda con detersivo per piatti. Quindi, sciacquare bene con acqua pulita in modo da eliminare ogni traccia di detersivo. (Fare riferimento alla Fig. 14)

Inserire i componenti.

Collocare nuovamente ciascun componente nella sua posizione originale facendo riferimento allo schema trasversale. (Fare riferimento alla Fig. 15)

Inserire il coperchio dell' asta.

Inserire entrambe le molle nell'asta. Premendo la guarnizione dell' asta dal retro con un dito, utilizzare l' altra mano per allineare il coperchio dell' asta con la scanalatura dell' asta, quindi premere il coperchio dell' asta dall' alto e ruotarlo in senso orario. Quando il coperchio dell'asta smette di girare, tirarlo verso l' alto per collocarlo in posizione. (Fare riferimento alla Fig. 16)

Inserire il regolatore di flusso, la leva e il coperchio.

Inserire il coperchio e il regolatore di flusso nel fermo interno come descritto in "Regolare la portata del flusso". Far passare la leva attraverso il montante del coperchio prima di inserire nella cerniera. (Fare riferimento alla Fig. 17)

Para garantir uma utilização correta, consulte os diagramas das páginas 10 e 11 e não se esqueça de ler atentamente este manual de instruções. Depois de o ler, guarde-o num local seguro para consultas futuras.

Guia de materiais

Consulte a Fig. 1

- ①-1 Tampa: polipropileno, resina ABS (resistente ao calor até 100 °C)
 - ①-2 Alavanca: resina ABS (resistente ao calor até 100 °C)
 - ①-3 Alavancas de separação: poliacetal (resistente ao calor até 100 °C)
 - ② Reguladores de fluxo A, B e C: polipropileno (resistente ao calor até 120 °C)
 - ③ Junta reguladora de fluxo: borracha de silicone (resistente ao calor até 180 °C)
 - ④ Cobertura da haste: poliacetal (resistente ao calor até 100 °C)
 - ⑤ Mola pequena: aço inoxidável
 - ⑥ Mola grande: aço inoxidável
 - ⑦ Corpo da tampa interna: polipropileno (resistente ao calor até 120 °C)
 - ⑧ Junta da válvula: borracha de silicone (resistente ao calor até 180 °C)
 - ⑨ Válvula: polipropileno (resistente ao calor até 120 °C)
 - ⑩ Haste: polipropileno (resistente ao calor até 120 °C)
 - ⑪ Junta da haste: borracha de silicone (resistente ao calor até 180 °C)
 - ⑫ Junta da tampa interna: borracha de silicone (resistente ao calor até 180 °C)
 - ⑬ Pega: polipropileno (resistente ao calor até 120 °C)
 - ⑭ Corpo (recipiente interior, corpo): aço inoxidável (exterior: revestimento de resina acrílica)
 - ⑮ Tampa interna
- FABRICADO NA CHINA

Precauções de uso

⚠ **Não aproximar do fogo. Não utilizar em fornos micro-ondas ou em aparelhos de cozedura por indução.**

⚠ **Caso seja uma criança a utilizar este produto, é necessária a supervisão de um adulto. Certifique-se de que explica todas as precauções a adotar antes da utilização. Seja extremamente cuidadoso quando utilizar o produto junto de crianças. Manter longe do alcance das crianças.**

- Não use o produto caso ele esteja rachado, quebrado ou muito arranhado, pois ele pode quebrar inesperadamente.
- Utilizar apenas para a conservação de bebidas quentes/frias.
- Não utilizar perto do fogo.
- Não aplicar qualquer vibração ou choque ao recipiente.
- Não colocar no congelador.

- Não permitir que a chaleira quente entre em contacto com o bico do recipiente.
 - Quando fechar a tampa, certifique-se de que o faz completamente. Certifique-se ainda de que todas as peças se encontram devidamente encaixadas e fechadas.
 - Depois de o encher com uma bebida quente, carregue na alavanca para libertar a pressão. Vire este produto para longe de qualquer pessoa presente enquanto o faz, uma vez que a pressão contida no interior pode provocar a projeção de salpicos do respetivo conteúdo.
 - Quando retirar a tampa interna e o produto estiver líquido, carregue na alavanca uma vez para libertar a pressão interna, em seguida remova a tampa interna.
 - Tenha cuidado para não provocar lesões a bebés ou crianças.
 - Não incline o produto antes de carregar na alavanca, uma vez que a pressão contida no interior pode provocar a projeção de salpicos do respetivo conteúdo.
 - Não pouse o produto numa superfície instável. Tal pode fazer o produto tombar e o respetivo conteúdo derramar-se, provocando queimaduras ou manchando objetos que estejam nas proximidades.
 - Durante o transporte do produto, certifique-se de que o segura pelo corpo ou pela pega. Não carregue na alavanca enquanto o transportar.
 - Nunca tente reparar, desmontar nem modificar este produto.
 - Não deixe ficar bebidas neste produto por períodos prolongados. Tal pode provocar corrosão ou deformações.
 - Poderá ocorrer descoloração ou manchas, se deixar bebidas como chá neste produto por um longo período de tempo.
 - Parta os cubos de gelo em pedaços mais pequenos antes de os colocar neste produto. Se os colocar inteiros no interior, pode causar riscos ou fugas.
 - Não coloque os itens seguintes no interior do produto.
 - Gelo seco e bebidas gaseificadas
- Este tipo de itens pode fazer a pressão acumular-se no interior do produto, o que pode impedir a abertura da tampa interna, levar a que parte do produto se quebre ou estalhe ou que sejam projetadas partículas de líquido a partir do produto. Tal poderá provocar ferimentos a pessoas ou sujar a área circundante.
- Leite, produtos lácteos, suco de frutas e outros itens perecíveis
- O gás libertado pela decomposição destes produtos deixados no interior do produto por períodos prolongados pode fazer a pressão acumular-se no interior do mesmo, o que pode impedir a abertura da tampa interna, levar a que parte do produto se quebre ou estalhe ou a que sejam projetadas partículas de líquido a partir do produto. Tal poderá provocar ferimentos a pessoas ou sujar a área circundante.
- Sopa miso/sopa que contenha sal. O sal pode provocar ferrugem, apodrecimento ou deterioração.
 - Folhas de chá/pedaços de carne Podem obstruir quaisquer aberturas e provocar queimaduras devido a fugas ou sujar o espaço circundante.

- Tenha cuidado para não tombar este produto quando colocar o gotejador sobre o mesmo.
 - Os gotejadores que não sejam da marca HARIO podem não encaixar bem neste produto. Não os tente forçar.
 - Na eventualidade improvável de o produto se danificar, pegue nas peças partidas com cuidado.
- Siga as regras locais ao descartar este produto no lixo.
- Não retire o autocolante apostado no centro da parte inferior do corpo.

Utilização deste produto

Remova a tampa interna.

Prima as alavancas de separação com os dedos e faça-as deslizar para o centro, levantando-as enquanto procede deste modo. (Consulte a Fig. 2)

Monte o gotejador (quando estiver a fazer o café, verta a água sobre o café).

Retire a tampa interna e instale o gotejador.

Certifique-se sempre de que o gotejador está bem encaixado antes de o utilizar. (Consulte a Fig. 3)

Verta a água sobre o café ou uma bebida para dentro do produto.

Não o encha para além do ponto indicado no diagrama. Se o produto estiver excessivamente cheio, o conteúdo pode transbordar ou, quando fecha a tampa, pode originar pressão que leva a que sejam projetadas partículas de líquido a partir do produto. O que pode provocar queimaduras. Também existe o risco de provocar danos ao produto. (Consulte a Fig. 4)

Insira a tampa interna.

Prima as alavancas de separação com os dedos e faça-as deslizar para o centro. Coloque a tampa interna firmemente na respetiva posição, alinhando a alavanca com a pega. As bebidas podem derramar-se do produto se a tampa interna não estiver devidamente colocada. (Consulte a Fig. 5)

Comece a servir.

Para servir, prima a alavanca, e incline o corpo.

Se premir a alavanca depois de inclinar o corpo, a pressão pode levar a que sejam projetadas partículas de líquido a partir do produto. (Consulte a Fig. 6)

Pare de servir.

Depois de servir, coloque sempre o corpo numa posição horizontal antes de soltar a alavanca. Se soltar a alavanca com o corpo inclinado, pode fazer o líquido ficar retido na tampa interna, o que pode provocar queimaduras. (Consulte a Fig. 7)

Ajustar a velocidade de fluxo

É possível ajustar a velocidade de fluxo quando se serve, substituindo o regulador de fluxo por A, B ou C. O regulador de fluxo B permite a velocidade de fluxo-padrão e é inserido por predefinição. Substituir o regulador de fluxo B pelo regulador de fluxo A irá fazer aumentar a velocidade de fluxo, o regulador de fluxo C reduz a velocidade de fluxo. Os reguladores de fluxo A e C estão incluídos na embalagem, guarde-os num local seguro. (Consulte a Fig. 8)

■ Substituir o regulador de fluxo

Retire a tampa da tampa interna.

Método 1

Prima as alavancas de separação com os dedos e faça-as deslizar para o centro. Erga a tampa, utilizando os dedos para premir os dois pontos assinalados com entalhes redondos no interior do corpo da tampa interna.

Método 2

Pressione e segure a tampa interna na base com uma mão enquanto desliza as alavancas de separação para o centro com a outra. Em seguida, abaixe a alavanca. (Consulte a Fig. 9)

Retire o regulador de fluxo e insira o que pretende utilizar.

Toque na secção que forma uma protuberância no regulador de fluxo ao mesmo tempo que carrega na cobertura da haste, e retire o regulador de fluxo. Continue a carregar na cobertura da haste e insira o regulador de fluxo que pretende utilizar. Certifique-se de que o regulador de fluxo que está a ser inserido está encaixado na respetiva junta. Primeiro, coloque a parte que contém o bico do regulador de fluxo, para que esta se fixe à superfície superior do bico do corpo da tampa interna.

(Consulte a Fig. 10)

Insira a tampa na tampa interna.

Prima as alavancas de separação com os dedos e faça-as deslizar para o centro. Insira a tampa, utilizando os dedos para premir os dois pontos assinalados com entalhes redondos no interior do corpo da tampa interna.

(Consulte a Fig. 11)

Cuidados com o produto

● Não é aconselhável a lavagem por imersão, nem em máquinas de lavar ou de secar a louça.

● Não utilizar lixívia, diluentes, produtos de limpeza, escovas de metal ou panos químicos neste produto.

● Após a lavagem, limpar de imediato o produto com um pano seco. Quando não pretender utilizar o produto por um período de tempo prolongado, certifique-se de que o limpa completamente e de que o guarda num local com pouca humidade.

■ Corpo (exterior)

Humedeça um pano em água quente com detergente da louça, esprema-o bem e limpe quaisquer manchas, em seguida, limpe-o com um pano macio e seco. Não utilizar esfregões de aço, etc.

■ Corpo (interior)

Lavar com uma escova da louça, com um cabo longo, mergulhada em água quente com detergente da louça e secar muito bem. * Quando o corpo principal estiver sujo, utilize um produto próprio para limpeza de garrafas térmicas de aço inoxidável.

● Se surgirem marcas vermelhas semelhantes a ferrugem, este resíduo forma-se devido à acumulação de minerais, como ferro, na água. Encha o produto com uma solução que contenha 10% de vinagre e deixe repousar durante cerca de 30 minutos, em seguida, lave bem o interior com uma escova com esponja macia para louça, etc. Enxágue muito bem com água limpa, até eliminar por completo os resíduos de vinagre.

● Se existirem resíduos mais persistentes

Estes resíduos são formados por minerais, como o cálcio, existente na água. Encha o produto com uma solução morna que contenha 10% de uma solução de ácido cítrico e deixe repousar durante cerca de 3 horas, sem tampa; em seguida, lave bem o interior com um esfregão macio, etc. Passe muito bem por água limpa até eliminar por completo os resíduos de ácido cítrico.

■ Tampa interna

Retire a junta da tampa interna e lave-a com um esfregão macio humedecido em água quente e detergente da louça. Em seguida, passe bem por água limpa, para que não fique com resíduos de detergente. Volte sempre a colocar a junta da tampa interna após a lavagem. Se estiver preocupado com a eventual sujidade existente no interior da tampa interna, pode desmontá-la e limpar cada uma das peças, recorrendo ao mesmo método. Consulte «Montagem e desmontagem da tampa interna» para obter informações adicionais sobre como montar e desmontar a tampa interna.

Montagem e desmontagem da tampa interna

Retire a tampa, a alavanca e o regulador de fluxo da tampa interna. Retire a tampa e o regulador de fluxo da tampa interna conforme descrito em «Substituir o regulador de fluxo». Retire a alavanca, puxando-a em paralelo à tampa. (Consulte a Fig. 12)

Retire a cobertura da haste.

Ao mesmo tempo que carregar na junta da haste a partir da parte posterior da mesma com o dedo, carregue na respetiva cobertura com a outra mão e rode-a no sentido contrário ao dos ponteiros do relógio. Quando a cobertura da haste parar de rodar, puxe-a para cima e retire-a. (Consulte a Fig. 13)

Lave cada uma das peças.

Quando retira a cobertura da haste permite que as peças superiores também sejam retiradas. Lave cada uma das peças com um esfregão macio humedecido em água quente e detergente da louça. Em seguida, passe bem por água limpa, para que não fique com resíduos de detergente. (Consulte a Fig. 14)

Insira as peças.

Volte a colocar cada uma das peças na sua posição original enquanto consulta o diagrama transversal. (Consulte a Fig. 15)

Encaixe a cobertura da haste.

Passe as duas molas pela haste. Ao mesmo tempo que carrega na junta da haste a partir da parte posterior com o dedo, utilize a sua outra mão para alinhar a cobertura da haste com a ranhura da haste, em seguida, carregue na cobertura da haste a partir de cima e rode-a no sentido dos ponteiros do relógio. Quando a cobertura da haste parar de rodar, puxe-a para cima, para a colocar na devida posição. (Consulte a Fig. 16)

Insira o regulador de fluxo, a alavanca e a tampa.

Insira a tampa e o regulador de fluxo na tampa interna conforme descrito em «Ajustar a velocidade de fluxo». Passe a alavanca pelo suporte da tampa antes de o pressionar para a articulação. (Consulte a Fig. 17)

Aby zapewnić prawidłowe użytkowanie, należy zapoznać się ze schematami na stronach 10 i 11 oraz dokładnie przeczytać niniejszą instrukcję obsługi. Po przeczytaniu należy ją przechowywać w bezpiecznym miejscu do użytku w przyszłości.

Materiałalgids

Patrz Rys. 1

- ①-1 Pokrywka: żywica ABS (odporna na temperaturę do 100°C)
 - ①-2 Dźwignia: żywica ABS (odporna na temperaturę do 100°C)
 - ①-3 Dźwignie zwalniające: poliacetal (odporny na temperaturę do 100°C)
 - ② Regulatory przepływu A, B i C: polipropylen (odporny na temperaturę do 120°C)
 - ③ Uszczelka regulatora przepływu: guma silikonowa (odporna na temperaturę 180°C)
 - ④ Osłona wałka: poliacetal (odporny na temperaturę do 100°C)
 - ⑤ Mała sprężyna: stal nierdzewna
 - ⑥ Duża sprężyna: stal nierdzewna
 - ⑦ Korpus ogranicznika wewnętrznego: polipropylen (odporny na temperaturę do 120°C)
 - ⑧ Uszczelka zaworu: guma silikonowa (odporna na temperaturę 180°C)
 - ⑨ Zawór: polipropylen (odporny na temperaturę do 120°C)
 - ⑩ Wałek: polipropylen (odporny na temperaturę do 120°C)
 - ⑪ Uszczelka wałka: guma silikonowa (odporna na temperaturę 180°C)
 - ⑫ Uszczelka ogranicznika wewnętrznego: guma silikonowa (odporna na temperaturę 180°C)
 - ⑬ Uchwyt: polipropylen (odporny na temperaturę do 120°C)
 - ⑭ Korpus (wewnętrzna butelka, korpus): stal nierdzewna (na zewnątrz: powłoka z żywicy akrylowej)
 - ⑮ Ogranicznik wewnętrzny
- WYPRODUKOWANO W CHINACH

Środki ostrożności dotyczące stosowania

⚠ Nie wystawiać na działanie otwartego ognia. Nie używać z kuchenkami mikrofalowymi ani urządzeniami do gotowania indukcyjnego.

⚠ Jeśli produkt jest używany przez dziecko, wymagany jest nadzór osoby dorosłej. Przed użyciem należy wyjaśnić wszystkie środki ostrożności. Należy zachować szczególną ostrożność podczas stosowania produktu w pobliżu dzieci. Przechowywać w miejscu niedostępnym dla dzieci.

- Nie używać produktu, jeśli jest popękany, złamany lub mocno porysowany, ponieważ może wtedy niespodziewanie pęknąć.
- Używać wyłącznie do utrzymywania ciepła/zimna napoju.
- Nie używać w pobliżu ognia.
- Nie narażać pojemnika na żadne wibracje ani mocne uderzenia.
- Nie wkładać do zamrażarki.

- Nie dopuszczać do kontaktu gorącego czajnika z ustnikiem pojemnika.
- Podczas zamykania pokrywki upewnić się, że jest ona całkowicie zamknięta. Upewnić się również, że wszystkie części są prawidłowo ustawione i szczelnie zamknięte.
- Po napełnieniu gorącym napojem nacisnąć dźwignię, aby uwolnić ciśnienie. Produkt powinien być wtedy skierowany z dala od osób, ponieważ ciśnienie wewnętrzne może doprowadzić do rozprysnięcia zawartości.
- Podczas demontażu ogranicznika wewnętrznego, gdy wewnątrz produktu znajduje się ciecz, nacisnąć jeden raz dźwignię, aby uwolnić ciśnienie, a dopiero potem zdjąć ogranicznik wewnętrzny.
- Zachować ostrożność w pobliżu niemowląt i dzieci.
- Nie przechylać produktu przed naciśnięciem dźwigni, ponieważ ciśnienie wewnętrzne może doprowadzić do rozprysnięcia zawartości.
- Nie umieszczać tego produktu na niestabilnych powierzchniach. Może to doprowadzić do przewrócenia się produktu i rozlania jego zawartości oraz skutkować poparzeniami ciała lub zaplamieniem pobliskich przedmiotów.
- Podczas przenoszenia produktu należy koniecznie trzymać go za korpus lub uchwyt. Nie naciskać dźwigni podczas przenoszenia.
- Nigdy nie próbować naprawiać, demontować ani modyfikować tego produktu.
- Nie zostawiać napojów w tym produkcie na dłuższy czas. Może to skutkować korozją lub odkształceniem.
- Jeśli napoje, na przykład herbata, pozostaną w tym produkcie na dłuższy czas, mogą wystąpić przebarwienia lub odbarwienia.
- Rozbić duże kostki lodu na mniejsze kawałki przed włożeniem do tego produktu. W przeciwnym razie może dojść do zarysowania lub wycieku.
- Nie wkładać do produktu wymienionych niżej elementów.
- Suchy lód i napoje gazowane

Mogą one spowodować wzrost ciśnienia wewnątrz produktu, co może uniemożliwić otwarcie ogranicznika wewnętrznego, spowodować pęknięcie lub rozerwanie części produktu, a także rozprysnięcie cieczy z produktu. W efekcie może dojść do obrażeń lub zabrudzenia otoczenia.

- Mleko, przetwory mleczne, soki owocowe i inne łatwo psujące się produkty
- Gaz uwalniany w wyniku rozkładu napojów pozostawionych w produkcie na dłuższy czas może spowodować wzrost ciśnienia wewnętrznego, co może uniemożliwić otwarcie ogranicznika wewnętrznego, spowodować pęknięcie lub rozerwanie części produktu, a także rozprysnięcie cieczy z produktu. W efekcie może dojść do obrażeń lub zabrudzenia otoczenia.
- Zupa miso / zupa z zawartością soli Sól zawarta w zupie może powodować korozję, gnienie lub przyspieszone zużycie produktu.
- Liście herbaty / miąższ herbaty Mogą zatkać otwory i spowodować poparzenia w wyniku wycieków oraz brudzić otoczenie.

- Należy uważać, aby nie przewrócić tego produktu podczas umieszczania na nim kropielnika.
- Kropielniki marki innej niż HARIO mogą nie pasować do tego produktu. Nie próbować montować ich na siłę.
- W mało prawdopodobnym przypadku uszkodzenia produktu należy obchodzić się ostrożnie z jego odłamkami.
- Podczas utylizacji tego produktu należy przestrzegać lokalnych przepisów dotyczących usuwania odpadów.
- Nie usuwać naklejki umieszczonej na środku na spodzie korpusu.

Korzystanie z tego produktu

Wymontować ogranicznik wewnętrzny.
Ścisnąć palcami dźwignie zwalniające w kierunku środka, jednocześnie unosząc cały element w górę. (Patrz Rys. 2)

Zamontować kropielnik (w przypadku przelewowego parzenia kawy).
Wymontować ogranicznik wewnętrzny i zamontować kropielnik.
Przed użyciem należy zawsze upewnić się, że kropielnik jest stabilny. (Patrz Rys. 3)

Zaparzyć przelewowo kawę lub wlać napój do produktu.
Nie wypełniać produktu cieczą poza punkt wskazany na schemacie. Jeśli produkt zostanie przepełniony cieczą, pokrywa może się nie zamykać, a zawartość pojemnika może się przelewać. Ewentualnie zamknięcie pokrywy może spowodować wzrost ciśnienia i doprowadzić do rozprysnięcia zawartości z wnętrza produktu. W efekcie może dojść do poparzeń. Istnieje również ryzyko uszkodzenia produktu. (Patrz Rys. 4)

Zamontować ogranicznik wewnętrzny.
Ścisnąć palcami dźwignie zwalniające w kierunku środka. Jednocześnie mocno osadzić na miejscu ogranicznik wewnętrzny, wyrównując dźwignię z uchwytem. Jeśli ogranicznik wewnętrzny nie będzie mocno osadzony, napoje mogą wyciekać z produktu. (Patrz Rys. 5)

Rozpocząć wylewanie.
Aby wylać, nacisnąć dźwignię, a następnie przechylić korpus.
Jeśli dźwignia zostanie naciśnięta po przechyleniu, nagromadzone ciśnienie może doprowadzić do rozprysnięcia zawartości z wnętrza produktu. (Patrz Rys. 6)

Zakończyć wylewanie.
Po wyłaniu, ale przed zwolnieniem dźwigni, zawsze ustawić korpus w pozycji poziomej. Zwolnienie dźwigni przy przechylenym korpusie może uwięzić ciecz w ograniczniku wewnętrznym i doprowadzić do poparzeń. (Patrz Rys. 7)

Regulacja natężenia przepływu

Natężenie przepływu podczas wylewania można regulować za pomocą regulatorów przepływu A, B i C. Regulator przepływu B zapewnia standardowe natężenie przepływu i jest montowany domyślnie. Zastąpienie regulatora przepływu B regulatorem przepływu A spowoduje zwiększenie natężenia przepływu, natomiast zmiana na regulator przepływu C spowoduje zmniejszenie natężenia przepływu. Regulatory przepływu A i C są dołączone do zestawu. Należy je przechowywać w bezpiecznym miejscu.

(Patrz Rys. 8)

■ Zmiana regulatora przepływu

Wymontować pokrywkę z ogranicznika wewnętrznego.

Metoda 1

Ścisnąć palcami dźwignię zwalniającą w kierunku środka. Unieść pokrywkę, ścisnąć palcami dwa punkty zaznaczone okrągłymi wgłębieniami na wewnętrznej stronie korpusu ogranicznika wewnętrznego.

Metoda 2

Jedną ręką nacisnąć i przytrzymać w podstawie ogranicznik wewnętrzny, a drugą ręką ścisnąć dźwignię zwalniającą w kierunku środka. Następnie opuścić dźwignię.

(Patrz Rys. 9)

Wymontować regulator przepływu i zamontować inny regulator przepływu, który ma być używany.

Ścisnąć wystającą część regulatora przepływu, jednocześnie naciskając osłonę wałka w dół, a następnie wymontować regulator przepływu. Stałe naciskając osłonę wałka w dół, zamontować regulator przepływu, który ma być używany. Upewnić się, że montowany regulator przepływu jest osadzony na uszczelce regulatora. Najpierw założyć stronę wylotową regulatora przepływu, tak aby przylegała do górnej powierzchni wylotu korpusu ogranicznika wewnętrznego.

(Patrz Rys. 10)

Założyć pokrywkę na ogranicznik wewnętrzny.

Ścisnąć palcami dźwignię zwalniającą w kierunku środka. Założyć pokrywkę, ścisnąć palcami dwa punkty zaznaczone okrągłymi wgłębieniami na wewnętrznej stronie korpusu ogranicznika wewnętrznego.

(Patrz Rys. 11)

Dbałość o produkt

- Nie myć poprzez namaczanie oraz nie używać w zmywarkach ani suszarkach do naczyń.
- Z tym produktem nie należy stosować wybielaczy chlorowych, rozcieńczalników, środków czyszczących, szcetek do szorowania metali ani ściereczek chemicznych.
- Po umyciu natychmiast przetrzeć suchą ściereczką. W przypadku nieużywania przez dłuższy czas konieczne dokładnie wyczyścić i wysuszyć produkt, a następnie odłożyć w miejsce o małej wilgotności.

■ Korpus (zewnątrzny)

Namoczyć miękką ściereczkę w gorącej wodzie z detergentem do naczyń, mocno ją wykręcić i wytrzeć wszelkie zabrudzenia, a następnie wysuszyć suchą, miękką ściereczką. Nie używać druczianych szcetek do szorowania itp.

■ Korpus (wewnętrzny)

Umyć szczotką gąbczastą z długim uchwytem, nasączoną gorącą wodą z detergentem do naczyń, a następnie dokładnie wysuszyć. *W przypadku zabrudzenia głównego korpusu należy użyć środka przeznaczanego do czyszczenia butelek ze stali nierdzewnej.

● Jeśli pojawią się czerwone grudki przypominające rdzę. Pozostałość tego typu jest tworzona przez minerały, na przykład żelazo obecne w wodzie. Wypełnić produkt ciepłym 10% roztworem octu i pozostawić na około 30 minut. Następnie dokładnie umyć wewnątrz miękkim zmywakiem gąbczastym itp. Spłukać dokładnie czystą wodą tak, aby usunąć wszelkie resztki octu.

● Jeśli wystąpi szorstka pozostałość

Pozostałość tego typu jest tworzona przez minerały, na przykład wapń obecny w wodzie. Nappełnić produkt ciepłym 10% roztworem kwasu cytrynowego i pozostawić na około 3 godziny bez pokrywki. Następnie dokładnie umyć wewnątrz miękką gąbką itp. Spłukać dokładnie czystą wodą tak, aby usunąć wszelkie resztki kwasu cytrynowego.

■ Ogranicznik wewnętrzny

Wyjąć uszczelkę ogranicznika wewnętrznego i umyć ją szczotką gąbczastą nasączoną gorącą wodą z detergentem do naczyń. Następnie dokładnie spłukać czystą wodą, aby usunąć cały detergent. Po umyciu zawsze ponownie założyć uszczelkę ogranicznika wewnętrznego. Jeśli ogranicznik wewnętrzny jest nadmiernie zabrudzony, można go zdemontować i oczyścić każdą jego część tą samą metodą. Informacje na temat montażu i demontażu ogranicznika wewnętrznego znajdują się w sekcji „Montaż/demontaż ogranicznika wewnętrznego”.

Montaż/demontaż ogranicznika wewnętrznego

Wymontować pokrywkę, dźwignię i regulator przepływu z ogranicznika wewnętrznego.

Wymontować pokrywkę i regulator przepływu z ogranicznika wewnętrznego zgodnie z opisem w sekcji „Wymiana regulatora przepływu”. Zdemonstrować dźwignię, pociągając ją równolegle do pokrywki. (Patrz Rys. 12)

Zdjąć osłonę wałka.

Dociskając od tyłu palcem uszczelkę wałka, drugą dłonią popchnąć osłonę wałka w dół i obrócić ją w lewo. Gdy osłona wałka przestanie się obracać, pociągnąć ją w górę w celu zdemontowania. (Patrz Rys. 13)

Umyć każdą część.

Zdemontowanie osłony wałka umożliwia wymontowanie powyższych części. Umyć każdą część szczotką gąbczastą nasączoną gorącą wodą z detergentem do naczyń. Następnie dokładnie spłukać czystą wodą, aby usunąć cały detergent. (Patrz Rys. 14)

Zamontować część.

Zamontować każdą część w pierwotnym położeniu, korzystając ze schematu. (Patrz Rys. 15)

Założyć osłonę wałka.

Przełożyć obie sprężyny przez wałek. Dociskając od tyłu palcem uszczelkę wałka, drugą dłonią wyrównać osłonę wałka z rowkiem w wałku, a następnie popchnąć osłonę wałka od góry w dół i obrócić ją w prawo. Gdy osłona wałka przestanie się obracać, pociągnąć ją w górę, aby ustawić ją na miejscu. (Patrz Rys. 16)

Zamontować regulator przepływu, dźwignię i pokrywkę.

Zamontować pokrywkę i regulator przepływu w ograniczniku wewnętrznym zgodnie z opisem w sekcji „Regulacja natężenia przepływu”. Przełożyć dźwignię przez filar pokrywki przed wsunięciem jej w zawias. (Patrz Rys. 17)

انزع المصد الداخلي.

اقصر على أدّرع فكّ الغطاء بأصابعك ومررها نحو المركز، مع الرفع فيما تفعل هذا.
(راجع الشكل 2)

ركّب وعاء التقطير (أثناء صبّ القهوة المُخَمَّرَة).

انزع المصد الداخلي وركّب وعاء التقطير.

تأكد دائماً من أن وعاء التقطير ثابت قبل الاستخدام.
(راجع الشكل 3)

قم بتخمير القهوة المُخَمَّرَة أو صُبّ مشروباً داخل المنتج.

لا تَمَلأ الوعاء بما يتجاوز النقطة المشار إليها في الرسم التوضيحي. إذا مَلِئَ هذا المنتج أكثر من اللازم، فقد لا يُغلق الغطاء، وقد تفيض المحتويات، أو قد يؤدي غلق الغطاء إلى إحداث ضغط يسبب رشّ المحتويات من المنتج. قد يؤدي هذا في النهاية إلى حدوث حروق. هناك أيضاً خطر تضرر المنتج.
(راجع الشكل 4)

أدخل المصد الداخلي.

اقصر على أدّرع فكّ الغطاء بأصابعك ومررها نحو المركز. ضع المصد الداخلي بثبات في موضعه فيما تفعل هذا، محاذياً الذراع مع المقبض. قد تسرب المشروبات من المنتج إذا لم يوضع المصد الداخلي في موضعه بثبات.
(راجع الشكل 5)

ابدأ الصب.

للصب، اضغط على الذراع، ثم قم بإمالة جسم المنتج.

إذا تم الضغط على الذراع بعد إمالة المنتج، فقد يسبب الضغط رشّ المحتويات منه.
(راجع الشكل 6)

توقف عن الصب.

بعد الصب، أعد جسم المنتج دائماً إلى وضع أفقي قبل تحرير الذراع. قد يسبب تحرير الذراع مع إمالة الجسم احتجاز السائل في المصد الداخلي، ما قد يؤدي إلى حدوث حروق.
(راجع الشكل 7)

• لا تدع الغلاية الساخنة تلامس قهوة الوعاء.

• عند غلق الغطاء، تأكد من غلقه بالكامل، نرجو أيضاً التأكد من أن ضبط كل الأجزاء ضبطاً

صحيحاً وإغلاقاً بإحكام.

• بعد ملء الوعاء ومشروب ساخن، اضغط على الذراع لتحرير الضغط. وجه هذا المنتج بعيداً عن أي أشخاص أثناء فعل هذا، حيث قد يسبب الضغط الداخل رشّ المحتويات.

• عند نزع المصدّ الداخلي مع وجود سائل داخل المنتج، اضغط على الذراع مرة واحدة لتحرير الضغط الداخلي، ثم انزع المصدّ الداخلي.

• نرجو توخي الحذر من إيداء الأطفال الرُّبْع والأطفال الصغار.

• لا تقم بإمالة هذا المنتج قبل دفع الذراع لأسفل، فقد يسبب الضغط الداخل رشّ المحتويات، لا تضع هذا المنتج على سطح غير مستقر. قد يسبب هذا إسقاط المنتج وانسكاب المحتويات،

• مما يسبب الحروق أو ظهور بُقع على الأجسام القريبة.

• تأكد أثناء حمل المنتج من إمسالك جسمه أو مقبضه. لا تضغط على الذراع أثناء حمل المنتج، لا تحاول أبداً إصلاح هذا المنتج، أو تفكيكه

• أو تعديله.

• لا تترك المشروبات في هذا المنتج لفترة زمنية طويلة. قد يؤدي هذا إلى تآكله أو تشوهه.

• قد يحدث فقدان اللون أو فساد إذا تُركت مشروبات مثل الشاي في هذا المنتج لفترة زمنية طويلة.

• اكسر مكعبات الثلج الكبيرة إلى قطع أصغر قبل وضعها في هذا المنتج. قد يحدث تخديش أو تسرب إذا وضعت مكعبات الثلج بكامل حجمها.

• لا تضع الأشياء التالية فيه.

• التلج الجاف والمشروبات الغازية

• قد تؤدي هذه الأشياء إلى تراكم الضغط داخل المنتج، ما قد يمنع المصدّ الداخلي من الفتح، أو يسبب انكسار جزء من المنتج أو تحطمه، أو يسبب رشّ السائل من المنتج. قد يؤدي هذا في النهاية إلى وقوع إصابة أو تلوث المنطقة المحيطة بالمنتج.

• الحليب، ومنتجاته، وعصائر الفواكه والأشياء الأخرى القابلة للتلف
• قد يؤدي الغاز الصادر عن تحلل الأشياء المتروكة داخل المنتج لفترات زمنية طويلة إلى تراكم الضغط، ما قد يمنع المصدّ الداخلي من الفتح، أو يسبب انكسار جزء من المنتج أو تحطمه، أو يسبب رشّ السائل من المنتج. قد يؤدي هذا في النهاية إلى وقوع إصابة أو تلوث المنطقة المحيطة بالمنتج.

• حساء الميسو / الحساء ذو المحتوى الملحي يمكن للمحتوى الملحي أن يسبب الصدأ. أو التعفن أو التدهور.

• أوراق الشاي / لبّ الثمار يمكنها أن تسد أي فتحات أو تسبب الحروق من التسرب أو تلوث ما يحيط بالمنتج.

• احذر من قلب هذا المنتج عند وضع وعاء التقطير فوقه.

• قد لا تتلامد أوعية التقطير غير الصادرة عن HARIO بطريقة جيدة مع هذا المنتج. لا

• تحول وضعها بالقوة في مكانها.

• في الحالة المُستعجلة لتضرر المنتج، نرجو التعامل مع أي قطع مكسورة بعناية.

• اتبع القوانين المحلية للتخلص من النفايات عند التخلص من هذا المنتج.

• لا تنزع الماصق في منتصف أسفل جسم المنتج.

راجع الرسوم التوضيحية في الصفحات 10 و 11 لضمان الاستخدام الصحيح، وتأكد من قراءة دليل الإرشادات بعناية. احفظ هذا الدليل بعد قراءته في مكانٍ آمنٍ للرجوع إليه مستقبلاً.

دليل الموائد

راجع الشكل 1

- 1-① غطاء: من البولي بروبيلين، وراتنج ABS (مقاوم للحرارة حتى 100 درجة مئوية)
- 2-① ذراع: من راتنج ABS (مقاوم للحرارة حتى 100 درجة مئوية)
- 3-① أدّرع فكّ الغطاء: من البولي أوكسي الميثيلين (مقاومة للحرارة حتى 100 درجة مئوية)
- ② منظمات التدفق A، B، وC: من البولي بروبيلين (مقاومة للحرارة حتى 120 درجة مئوية)
- ③ حشية تنظيم التدفق: من مطاط السيليكون (مقاومة للحرارة حتى 180 درجة مئوية)
- ④ غطاء العمود: من البولي أوكسي الميثيلين (مقاوم للحرارة حتى 100 درجة مئوية)
- ⑤ نابض صغير: من الصلب المقاوم للصدأ
- ⑥ نابض كبير: من الصلب المقاوم للصدأ
- ⑦ جسم المصد الداخلي: من البولي بروبيلين (مقاوم للحرارة حتى 120 درجة مئوية)
- ⑧ حشية الصمام: من مطاط السيليكون (مقاومة للحرارة حتى 180 درجة مئوية)
- ⑨ صمام: من البولي بروبيلين (مقاوم للحرارة حتى 120 درجة مئوية)
- ⑩ العمود: من البولي بروبيلين (مقاوم للحرارة حتى 120 درجة مئوية)
- ⑪ حشية العمود: من مطاط السيليكون (مقاومة للحرارة حتى 180 درجة مئوية)
- ⑫ حشية المصد الداخلي: من مطاط السيليكون (مقاومة للحرارة حتى 180 درجة مئوية)
- ⑬ مقبض: من البولي بروبيلين (مقاوم للحرارة حتى 120 درجة مئوية)
- ⑭ الجسم (الإزاحة الداخلية، والجسم): من الصلب المقاوم للصدأ (الجزء الخارجي: غشاء من الراتنج الأكريليكي)
- ⑮ المصد الداخلي

⑮ صنع في الصين

إجراءات احتياطية للاستخدام

⚠ لا تعرضه للهب المكشوف. لا تستخدمه مع أفران الميكروويف أو أجهزة الطهو بالحث الكهربي.

⚠ يلزم إشراف الراشدين إذا كان طفل سيستخدم هذا المنتج. تأكد من شرح كل الاحتياطات للطفل قبل الاستخدام. توخّ الحرص الشديد عند استخدامه بالقرب من الأطفال. خزّنه بعيداً عن متناول الأطفال.

- لا تستخدم المنتج إذا كان مكدّساً أو مكسوراً أو مخدّساً بشدة؛ فقد ينكسر بغطّة.
- لا تستخدمه إلا لحفظ المشروبات الساخنة/الباردة.
- لا تستخدمه بالقرب من النار.
- لا تعرّض الوعاء لأي اهتزاز أو صدمة.
- لا تضعه في المُجمّد.
- لا تضعه في المُجمّد.

انزع الغطاء، والذراع ومنظم التدفق من المصد الداخلي.

انزع الغطاء ومنظم التدفق من المصد الداخلي كما هو موصوف ضمن "تغيير منظم التدفق". انزع الذراع بسحبه باتجاه مواز للغطاء.
(راجع الشكل 12)

انزع غطاء العمود.

أثناء الضغط على حشية العمود من الجانب الخلفي بإصبعك، اضغط لأسفل على غطاء العمود بيدك الأخرى وأدره بعكس اتجاه عقارب الساعة. عندما يتوقف غطاء العمود عن الدوران، فاسحبه لأعلى لنزعه.

(راجع الشكل 13)

اغسل كل جزء.

يتميز نزع غطاء العمود نزع الأجزاء العلوية. اغسل كل جزء بإسفنجة ناعمة في ماء ساخن به منظف أطباق. ثم اشطفها جيداً بماء نظيف بحيث لا يتبقى أي منظف.
(راجع الشكل 14)

أدخل الأجزاء.

أعد كل جزء إلى موضعه الأصلي مع مراجعة الرسم التوضيحي للمقطع العرضي.
(راجع الشكل 15)

ركّب غطاء العمود.

مرر النابضين عبر العمود. أثناء الضغط على حشية العمود من الجانب الخلفي بإصبعك، استخدم اليد الأخرى لمحاذاة غطاء العمود مع تجويف العمود، ثم اضغط لأسفل على غطاء العمود من أعلى، وأدره باتجاه عقارب الساعة. عندما يتوقف غطاء العمود عن الدوران، ضعه في مكانه.
(راجع الشكل 16)

أدخل منظم التدفق، والذراع والغطاء.

أدخل الغطاء ومنظم التدفق إلى المصد الداخلي كما هو موصوف ضمن "ضبط معدل التدفق". مرر الذراع عبر دعامة الغطاء قبل الضغط عليه لإدخاله في المفصلة.
(راجع الشكل 17)

يُحظر استخدام الغسل بالنتقع أو في غسالة أطباق ومجففات الأطباق.

نرجو عدم استخدام مبيض الكلور أو المخففات أو المنظفات أو فرش التنظيف المعدنية أو الأقمشة الكيماوية على هذا المنتج.

بعد الغسل، نرجو مسح المنتج على الفور بقطعة قماش جافة. تأكد من تنظيف المنتج بالكامل، وتجفيفه وتخزينه في مكان بأقل رطوبة ممكنة عند عدم استخدامه لفترة زمنية طويلة.

■ الجسم (الجزء الخارجي)

انقع قطعة قماش ناعمة في ماء ساخن به منظف أطباق، واعصرها بقوة وامسح أي بقع ثم جففها بقطعة قماش جافة ناعمة. نرجو عدم استخدام فرشاة تنظيف معدنية وما إلى هذا.

■ الجسم (الجزء الداخلي)

اغسله بفرشاة إسفنجية طويلة اليد متفوعة في

ماء ساخن به منظف أطباق وجففه جيداً. * عندما يكون الجسم الرئيسي متسخاً، فارجو استخدام عامل تنظيف زجاجات الصلب المقاوم للصدأ.

■ إذا ظهرت بقع حمراء تشابه الصدأ، فهذه الرواسب تتشكل بواسطة المعادن مثل الحديد في الماء. املا هذا المنتج بمحلول خلي دافئ بتركيز 01% وتركه لمدة 03 دقيقة تقريباً، ثم اغسله من داخله جيداً بفرشاة إسفنجية ناعمة، وما شابه ذلك. اشطفه جيداً بماء نظيف حتى لا يتبقى أي خل.

■ إذا ظهرت رواسب خشنة

تشكل هذه الرواسب من المعادن مثل الكالسيوم في الماء. املا هذا المنتج بمحلول حمض ليمون دافئ بتركيز 10% وتركه لمدة 3 ساعات تقريباً بدون وضع الغطاء، ثم اغسله من داخله جيداً بإسفنجة ناعمة، وما شابه ذلك. اشطفه جيداً بماء نظيف حتى لا يتبقى أي حمض ليمون.

■ المصد الداخلي

انزع حشية المصد الداخلي واغسلها بإسفنجة ناعمة في ماء ساخن به منظف أطباق. ثم اشطفها جيداً بماء نظيف بحيث لا يتبقى أي منظف. أعد تركيب حشية المصد الداخلي دائماً بعد الغسل. إذا كنت قلقاً بشأن التراب داخل المصد الداخلي، فيمكنك تفكيكه وتنظيف كل جزء بالطريقة نفسها. راجع "تركيب/ تفكيك المصد الداخلي" لمعرفة المعلومات عن تركيب المصد الداخلي وتفكيكه.

يمكن ضبط معدل التدفق أثناء الصب بتغيير منظم التدفق على A أو B أو C. يوفر منظم التدفق B معدل التدفق المعياري ويتم إدخاله بشكل افتراضي. سيزيد استخدام منظم التدفق A بدلاً من B من معدل التدفق، ويقلل منظم التدفق C معدل التدفق. منظم التدفق A و C مشمولان في العبوة، فحزّنهما في مكان آمن.
(راجع الشكل 8)

■ تغيير منظم التدفق

انزع الغطاء من المصد الداخلي.

1 الطريقة

أقرص على أدورع فك الغطاء بأصابعك ومررها نحو المركز. ارفع الغطاء أثناء استخدام أصابعك للضغط على النقطتين المحددتين بالثغرتين الدائريتين داخل جسم المصد الداخلي.

2 الطريقة

اضغط على المصد الداخلي باتجاه القاعدة واستمر في الضغط عليه بإحدى يديك، مع استخدام اليد الأخرى في الوقت نفسه لتحريك أدورع فك الغطاء باتجاه المركز. وبعد ذلك، أنزل الأدورع.
(راجع الشكل 9)

انزع منظم التدفق وأدخل منظم التدفق الذي ترغب في استخدامه.

أقرص القسم البارز من منظم التدفق مع الضغط لأسفل على غطاء العمود، وانزع منظم الضغط. استمر في الضغط لأسفل على غطاء العمود وأدخل منظم التدفق الذي ترغب في استخدامه. تأكد من أن منظم التدفق الذي سيتم إدخاله قد تم تركيبه في حشية منظم التدفق. أولاً، ضع جانب الإخراج من منظم التدفق بحيث يثبت على السطح العلوي من مخرج جسم المصد الداخلي.
(راجع الشكل 10)

أدخل الغطاء في المصد الداخلي.

أقرص على أدورع فك الغطاء بأصابعك ومررها نحو المركز. أدخل الغطاء أثناء استخدام أصابعك للضغط على النقطتين المحددتين بالثغرتين الدائريتين داخل جسم المصد الداخلي.

(راجع الشكل 11)

製品についてのお問い合わせ先

HARIO株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-3
フリーダイヤル：0120-39-8208 <https://www.hario.com>

Contact

HARIO CO., LTD.

9-3 Nihonbashi Tomizawa-Cho, Chuo-ku, Tokyo 103-0006 Japan
<https://global.hario.com>

オンラインマニュアルや動画での説明

Online manuals and explanatory videos

